

令和3年度

六ヶ所村まち・ひと・しごと創生総合戦略

# 住民意向調査結果

2022年3月

青森県 六ヶ所村

# 目 次

1	調査概要	1
(1)	調査目的	1
(2)	調査期日	1
(3)	調査対象・方法	1
(4)	アンケート回収結果	1
2	回答者の属性	2
(1)	性別・年齢	2
(2)	世帯構成	2
(3)	住居・住所地	3
(4)	居住年数	3
3	「ひと」に関する調査	4
(1)	配偶者の有無	4
(2)	子どもの人数	5
(3)	理想とする子どもの人数	6
(4)	希望する出産・育児環境	7
(5)	結婚願望	9
(6)	結婚の条件	10
(7)	結婚しない理由	11
(8)	出生地・転入履歴	13
(9)	転入した理由	13
(10)	居住継続希望	15
(11)	住み続ける理由	17
(12)	転居したいができない理由	19
4	「しごと」に関する調査	21
(1)	就業状況・就業場所・勤続年数	21
(2)	しごとの満足度	22
(3)	しごとの不満理由	23
(4)	新しい就職への希望・希望する職場	24
(5)	就業希望地・就業地希望理由	25
(6)	新たな就業を希望しない・就業できない理由	27
5	「まち」に関する調査	29
(1)	当面の重点的に取り組んでほしいこと	29
(2)	長期的な将来の方向性	36
(3)	将来像	38
6	人口減少や少子高齢化に伴う地方創生事業等に関する自由記述	40

# 1 調査概要

## (1) 調査目的

第2期六ヶ所村まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に当たり、雇用や結婚・出産・子育て、社会移動（転入・転出）等に対する村民の意識を把握し、検討の基礎資料とすることを目的に実施した。

## (2) 調査基準日

令和3年7月1日

## (3) 調査対象・方法

### ① 調査対象

調査対象者は、六ヶ所村に住所を有する18歳以上70歳以下の6,794名（外国人及び介護福祉施設等に居住する者を除く。）の中から、無作為に2,000名を抽出した。

その結果、調査対象者の属性は以下のとおりである。

総数	2,000名	(男性 1,157名	女性 843名)
20歳未満	73名		
20代	380名		
30代	357名		
40代	386名		
50代	358名		
60歳以上	456名		

### ② 調査方法

調査票及び返信用封筒を調査対象者へ郵送して実施した。

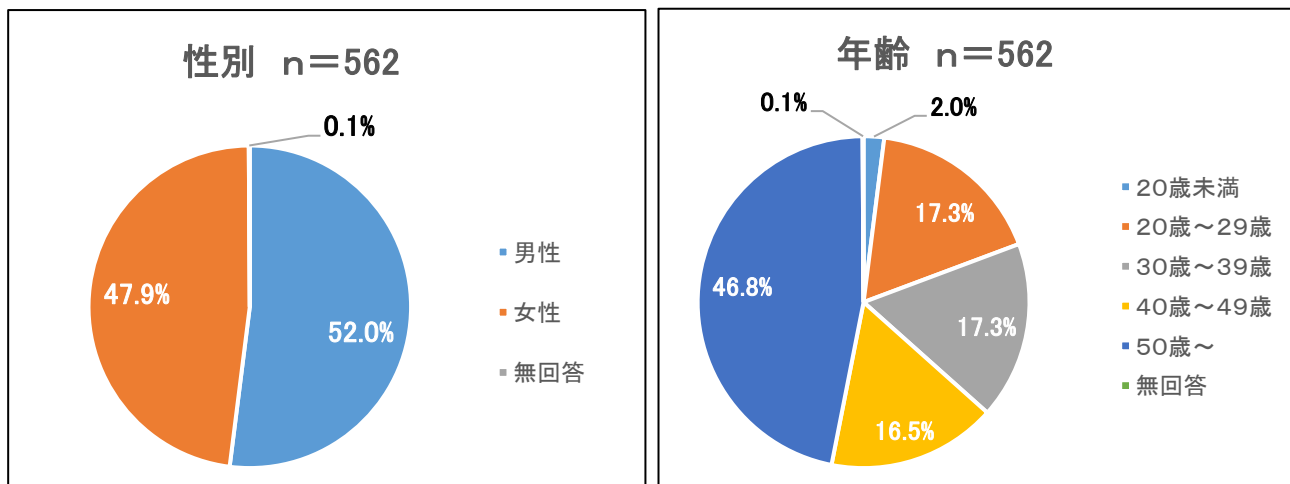
## (4) 調査票回収結果

調査対象	発送数	回収数	回収率
六ヶ所村民	2,000	562	28.1%

## 2 回答者の属性

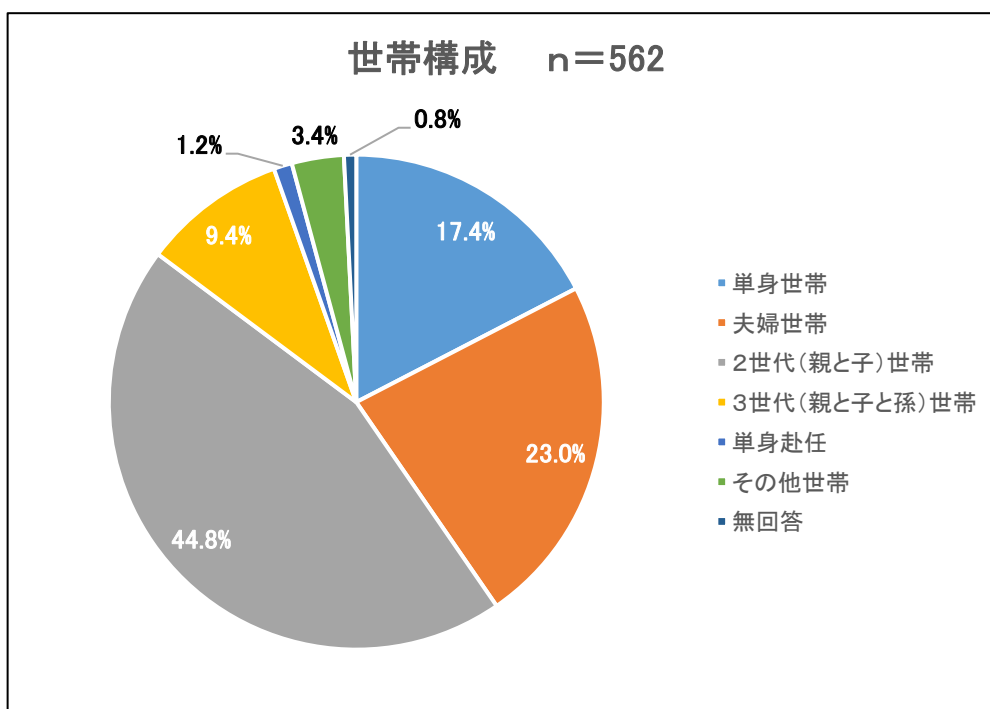
### (1) 性別・年齢

回答者を性別にみると、「男性」(52.0%)、「女性」(47.9%)となっており、年齢別で見ると、「50歳以上」(46.8%)が最も多く、次いで、「20～29歳」と「30～39歳」が同数(17.3%)となっており、「40～49歳」が(16.5%)となっている。



### (2) 世帯構成

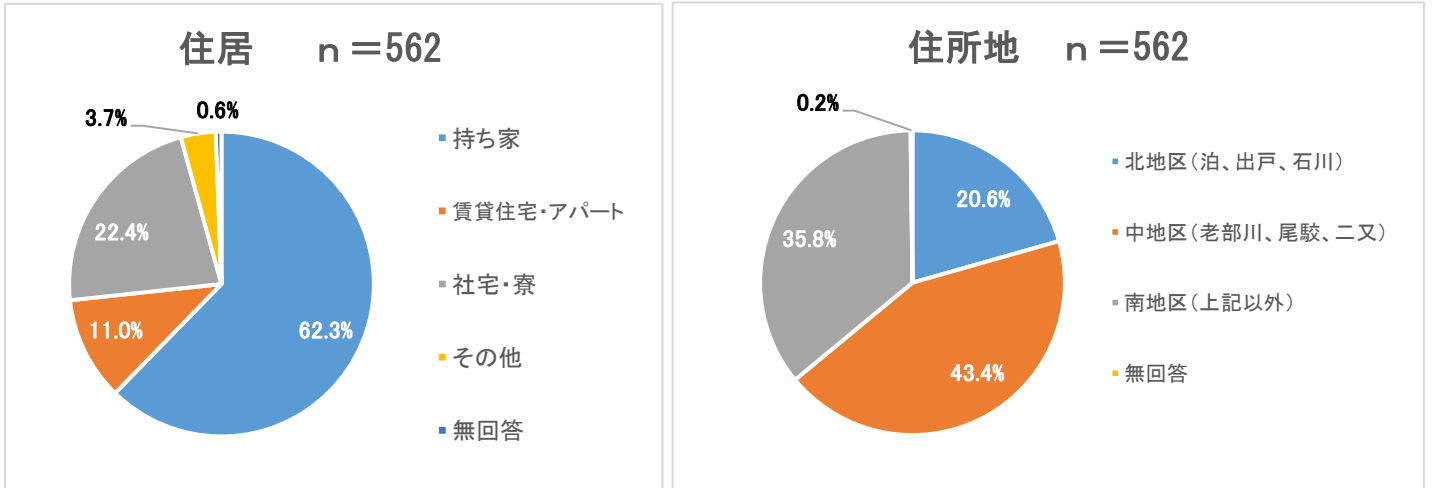
回答者を世帯構成別にみると、「2世代(親と子)世帯」(44.8%)が最も多く、次いで「夫婦世帯」(23.0%)、「単身世帯」(17.4%)となっている。



### (3) 住居・住所地

回答者を住居別で見ると、「持ち家」(62.3%)が最も多く、次いで「社宅・寮」(22.4%)、「賃貸住宅・アパート」(11.0%)という結果であった。

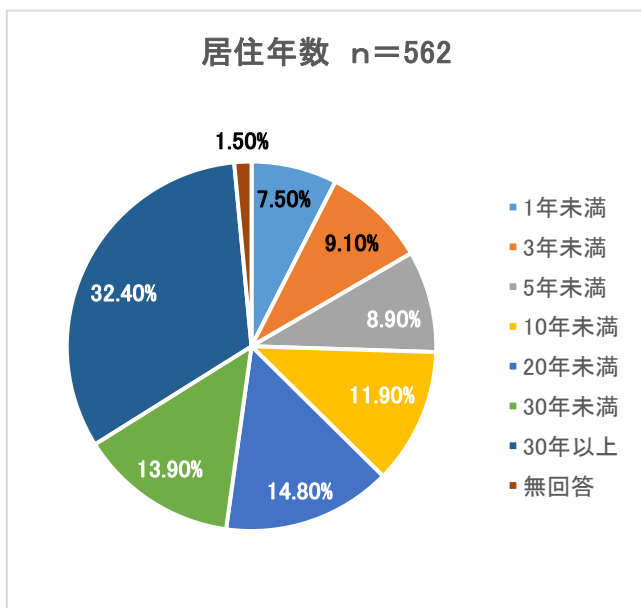
住所地別にみると、「中地区」(43.4%)が最も多く、次いで「南地区」(35.8%)、「北地区」(20.6%)であった。



### (4) 居住年数

回答者を居住年数別で見ると、「30年以上」(32.4%)が最も多く、次いで「20年未満」(14.8%)、「30年未満」(13.9%)という結果になった。

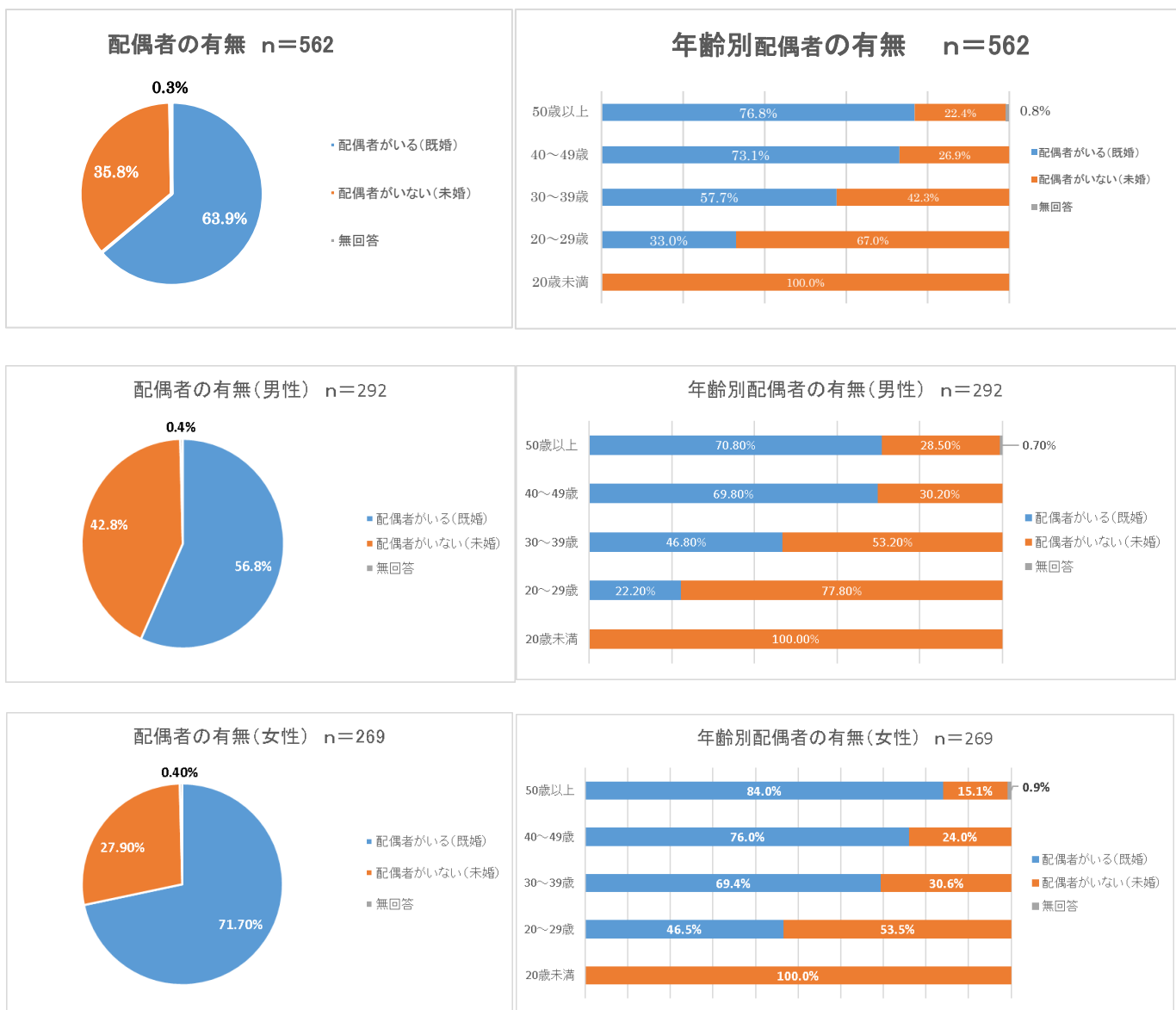
回答者のうち約61%が六ヶ所村に10年以上居住していることとなる。



### 3 「ひと」に関する調査

#### (1) 配偶者の有無

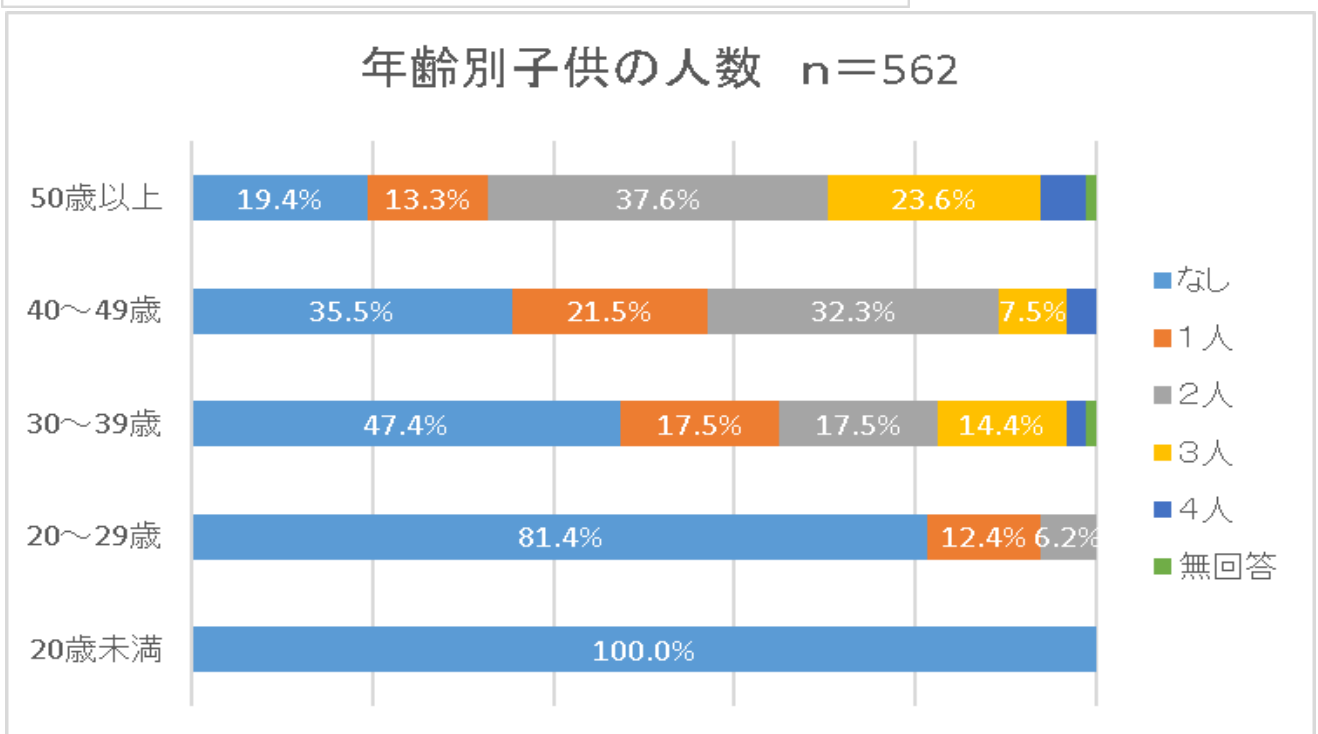
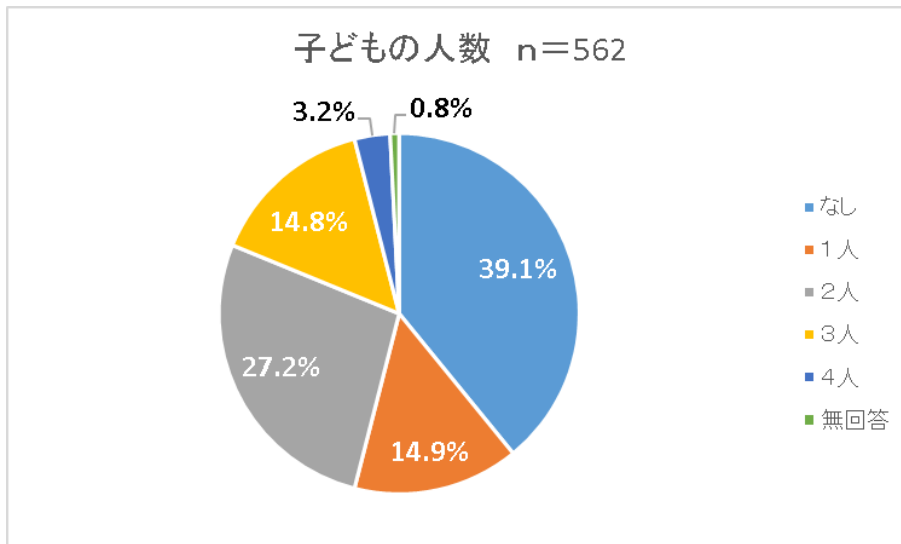
「配偶者がいる」と回答した割合は63.9%で、性別にみると男性が56.8%、女性が71.7%と、女性と比べ男性の既婚率が低いことがわかる。年齢別にみても全ての年齢層で女性の既婚率が上回っており、特に、「20～29歳」では24.3ポイントの乖離がある。



## (2) 子どもの人数

子どもの人数は「なし」(39.1%)が最も多く、次いで「2人」(27.2%)、「1人」(14.9%)となっている。

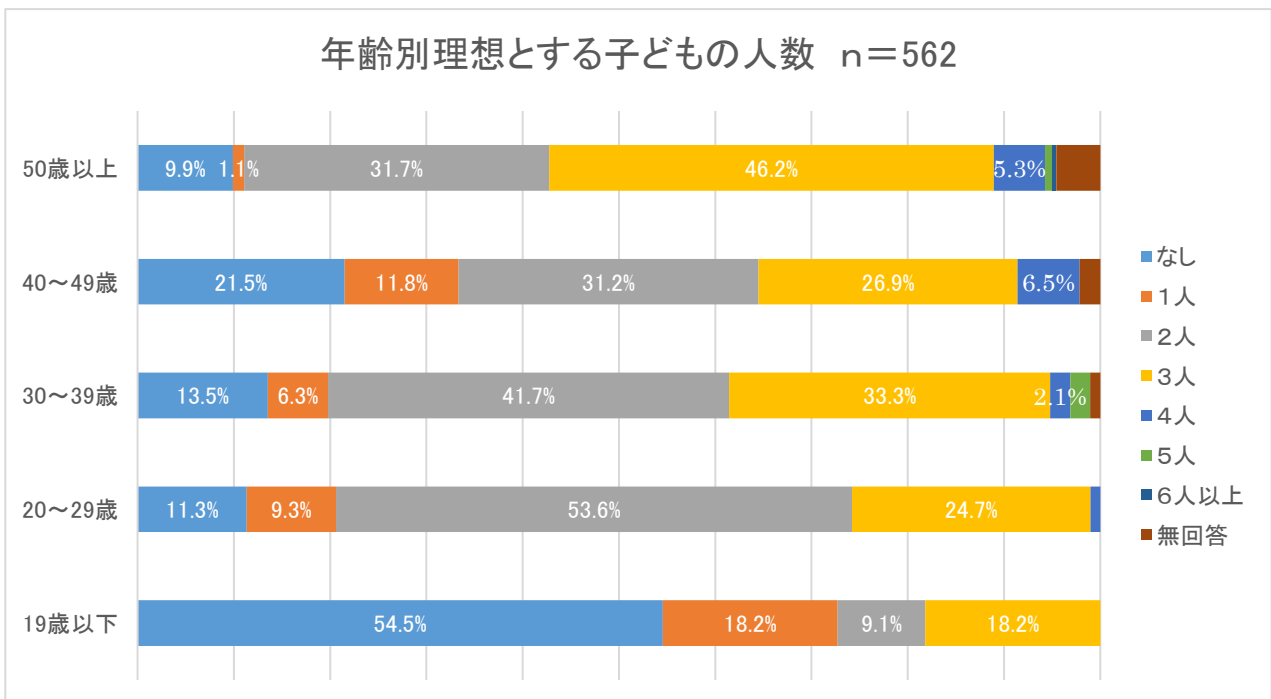
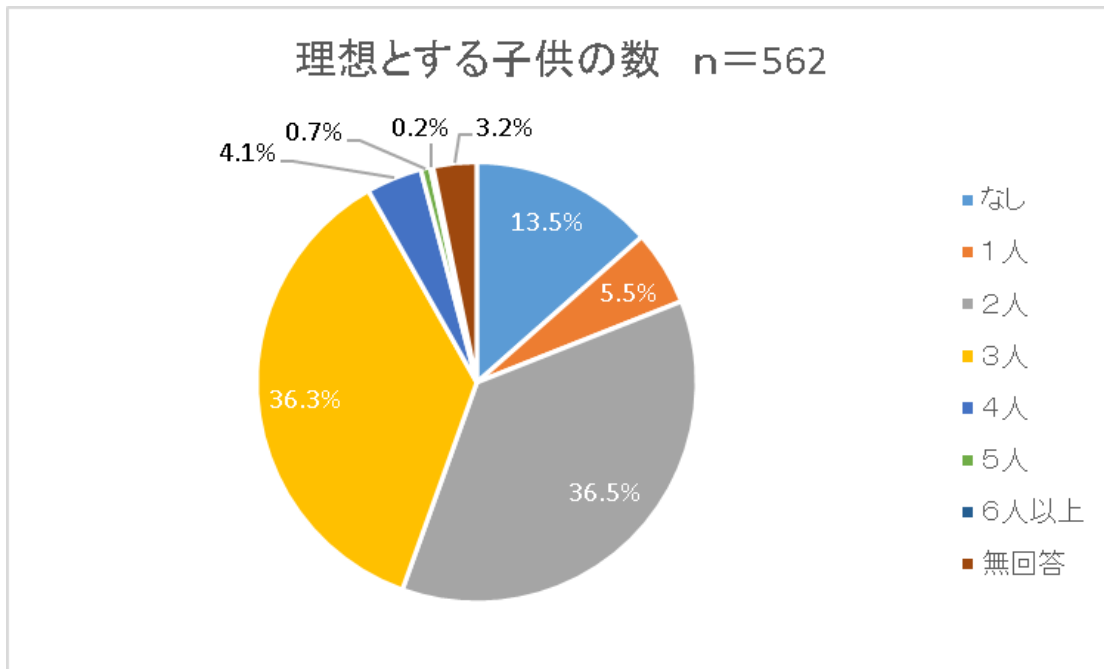
年齢別にみると「50歳以上」で約6割、「40～49歳」で約4割、「30～39歳」で約3割が2人以上の子どもを持ち、「20～29歳」では2人以上の子どもを持つのは1割に満たない。



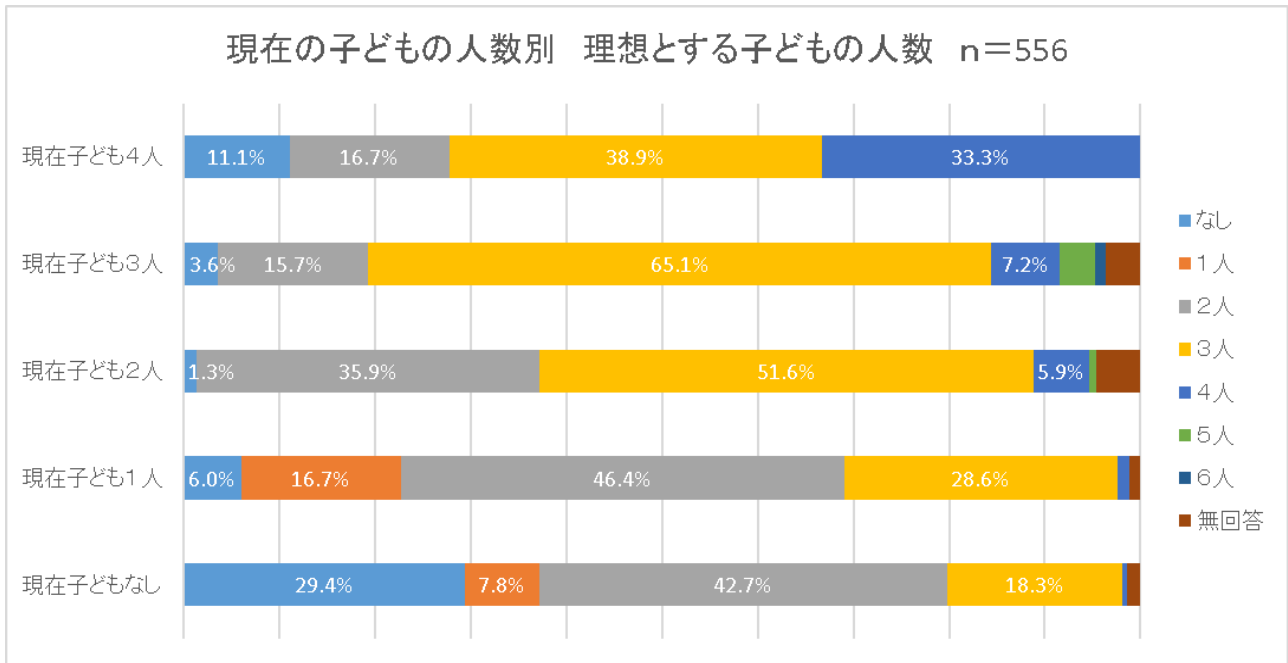
### (3) 理想とする子どもの人数

理想とする子どもの人数は「2人」(36.5%)が最も多く、次いで「3人」(36.3%)となっている。年齢別にみると、「20～29歳」「30～39歳」では約8割が2人以上の子どもの数を理想と考えている。

現在の子どもの人数別にみると、子ども3人以上を持つ回答者はおおむね理想どおりとなっており、また、現在の子どもの人数が0～2人の回答者は、現在より多くの子どもを持ちたいと考えていることがわかる。

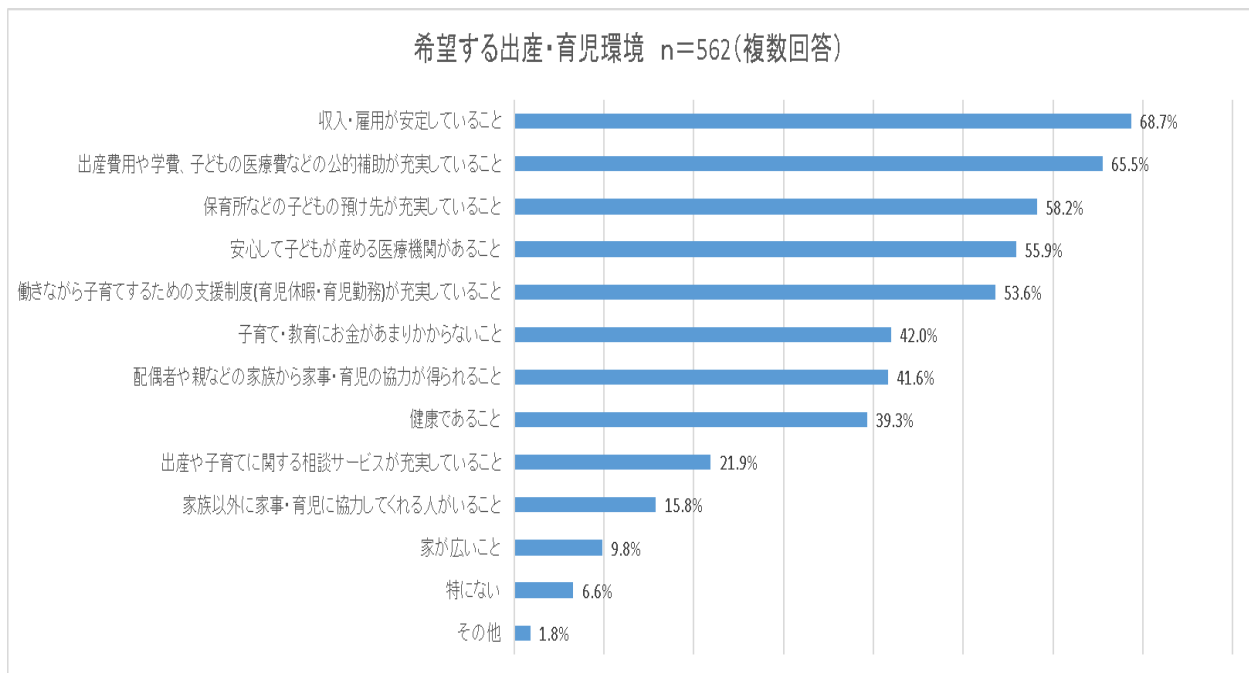


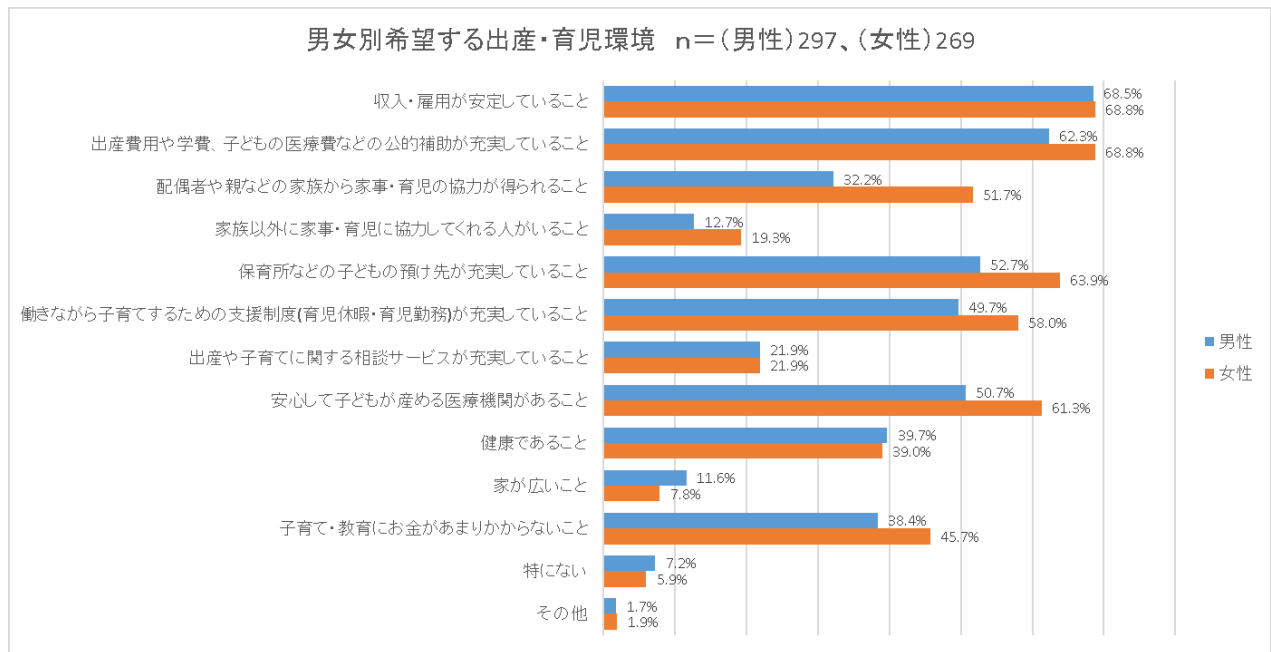




#### (4) 希望する出産・育児環境

希望する出産・育児環境について、「収入・雇用が安定していること」(68.7%)が最も多く、次いで「出産費用や学費、子どもの医療費などの公的補助が充実していること」(65.5%)、「保育所などの子どもの預け先が充実していること」(58.2%)、「安心して子どもが産める医療機関があること」(55.9%)、となっている。なお、上位5項目については、昨年度の調査と同様の結果となっており、多くの方に希望する出産・育児環境の条件として重視されているものと考えられる。





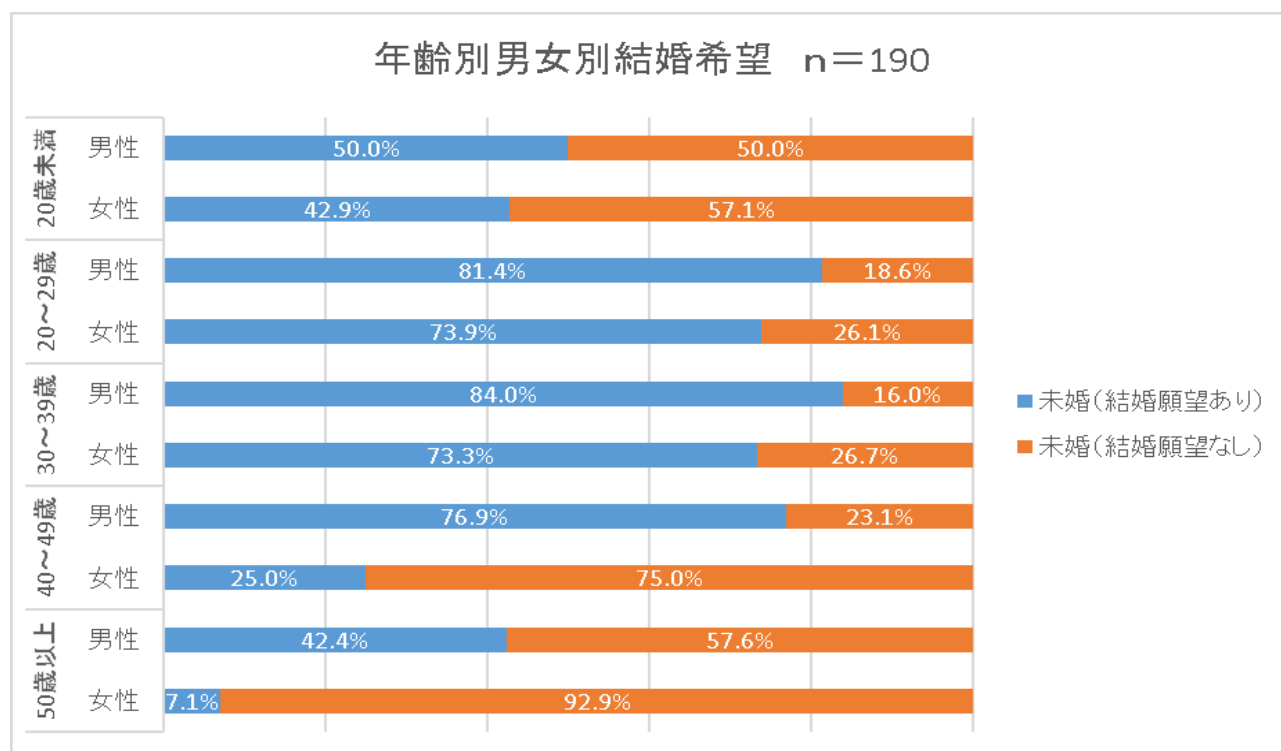
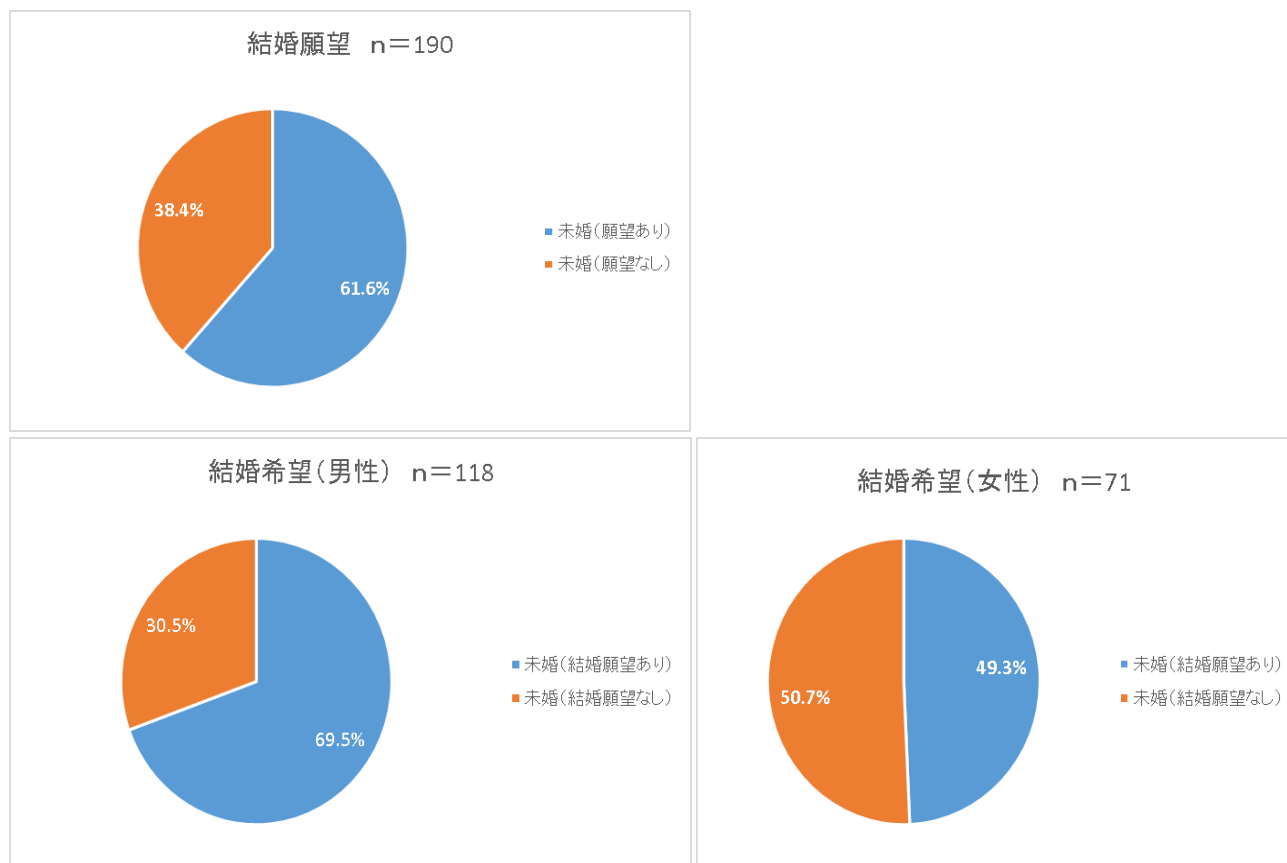
【その他】順不同

- ・ にこにこ塾は仕事の関係から夏冬春休みは7:30からお願いしたい
- ・ 昔に比べ今の方が子育てに良いと思う
- ・ 自然環境に育てたい
- ・ 医療センターに婦人科を作ってほしい。
- ・ 産婦人科が遠い
- ・ 子どもの教育環境をもっと進めるべき
- ・ 病院（小児科、産婦人科）が近くにあること
- ・ 小児科のある市町村が遠くて不便を感じる

## (5) 結婚願望

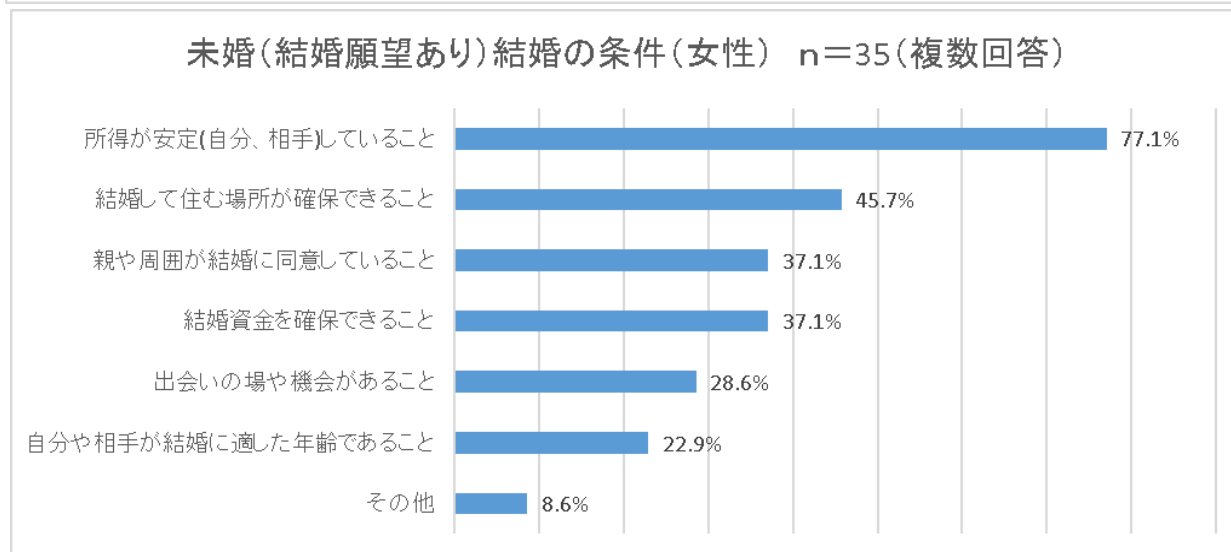
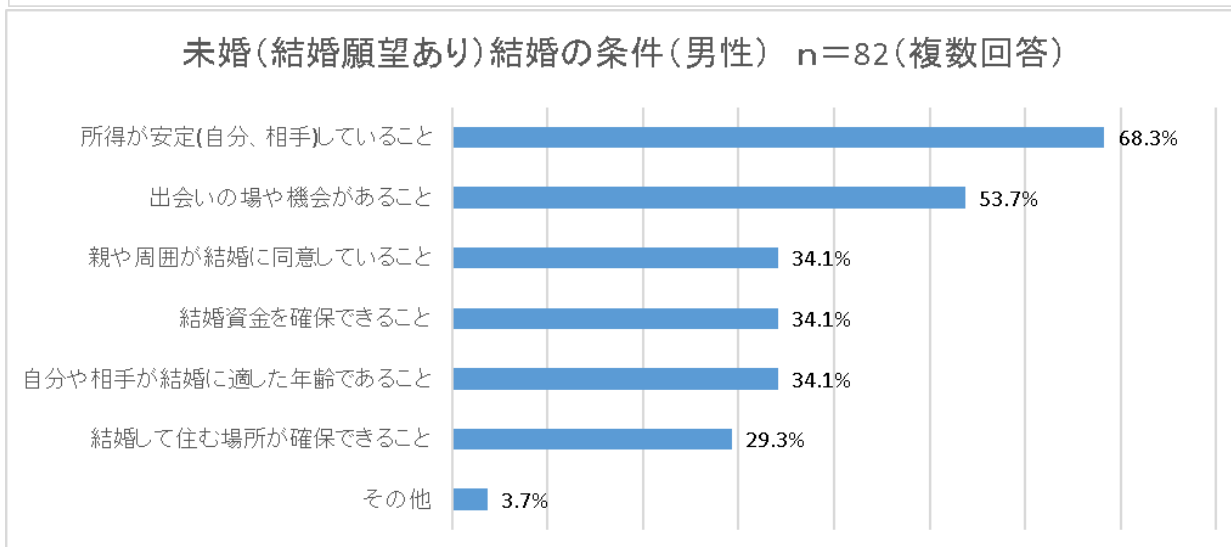
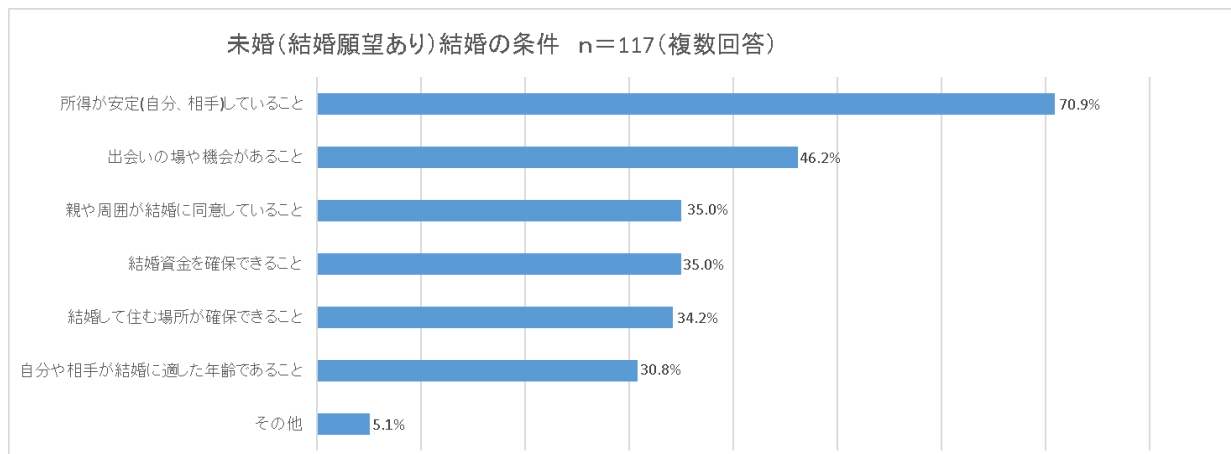
未婚のうち61.6%が「結婚願望あり」と回答しており、男女別にみると未婚男性の69.5%、未婚女性の49.3%が結婚を希望している。

年齢別男女別にみると、いずれの年代でも男性の方が女性と比べ希望する比率が高く、特に、40～49歳では51.9ポイントの大きな乖離がみられる。



## (6) 結婚の条件

結婚の条件として、7割を超える方が「所得が安定していること」(70.9%)と回答しており、経済的な要因が大きく影響していることがわかる。次いで「出会いの場や機会があること」(46.2%)となっており、特に男性がこの選択肢を回答している傾向が見られた。



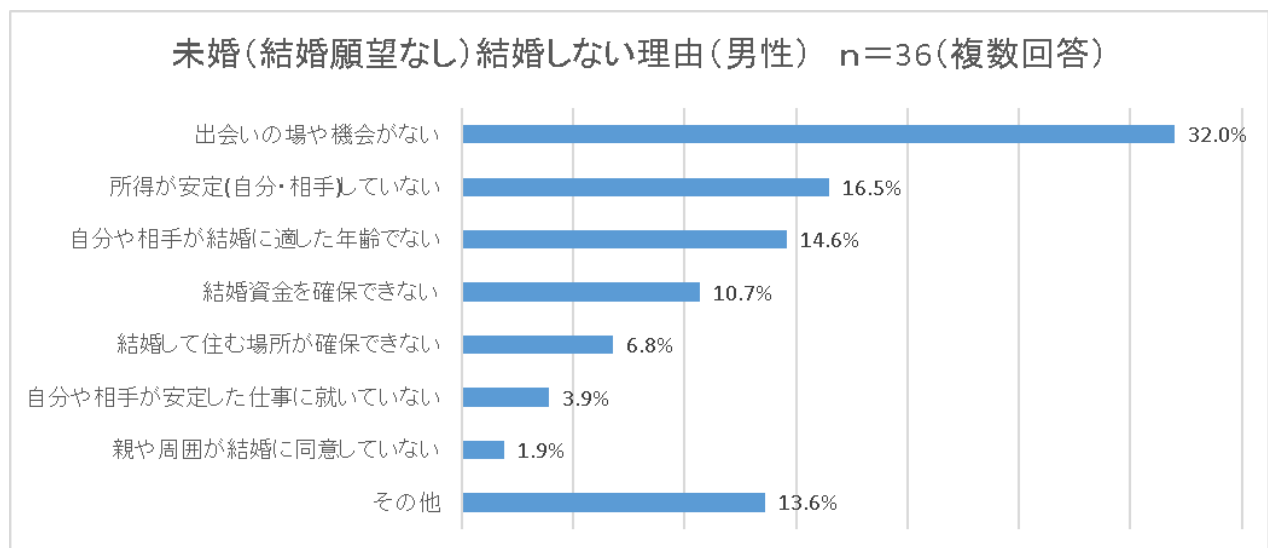
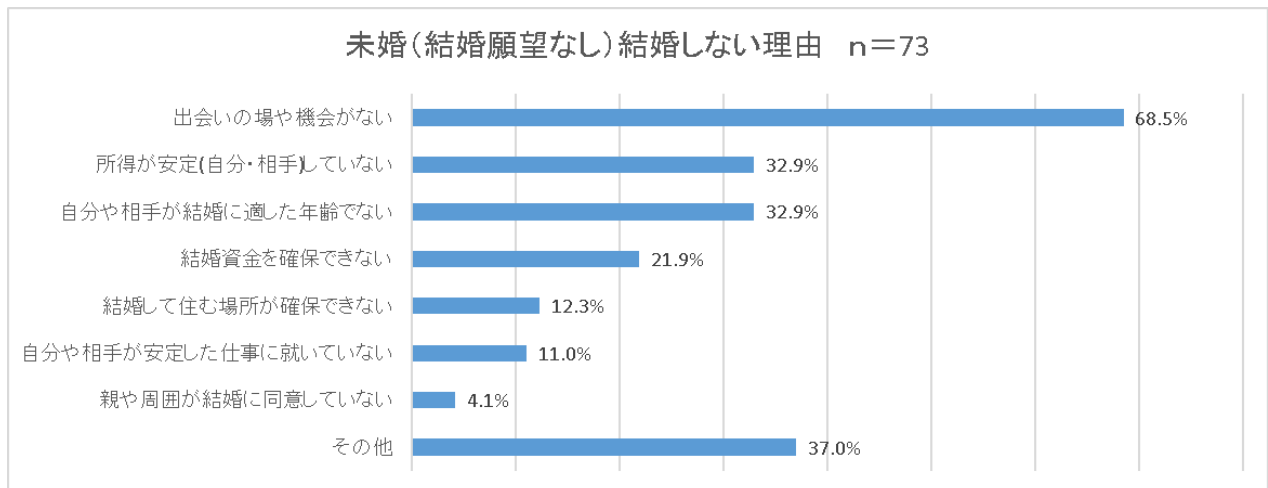
### 【その他】 順不同

- ・ 昔の男女の有り方にとらわれない
- ・ 良い出会いがあれば
- ・ ずっと一緒にいたいと思っただらしたい
- ・ 自分の事を愛してくれること
- ・ 結婚しない

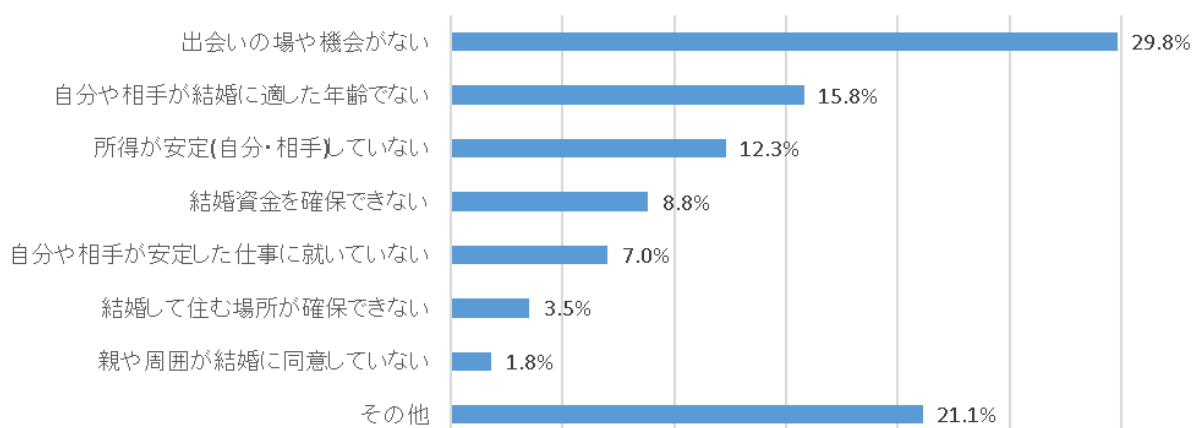
## (7) 結婚しない理由

結婚しない理由として、「出会いの場や機会がない」(68.5%)が最も多く、次いで「所得が安定していない」「結婚に適した年齢でない」(32.9%)となっている。男女別にみると、順位に差異はあるものの上位3項目は同じである。

また、この設問では「その他」と回答した比率が高く、具体的な内容は以下に記載のとおりである。



未婚(結婚願望なし)結婚しない理由(女性) n=36(複数回答)

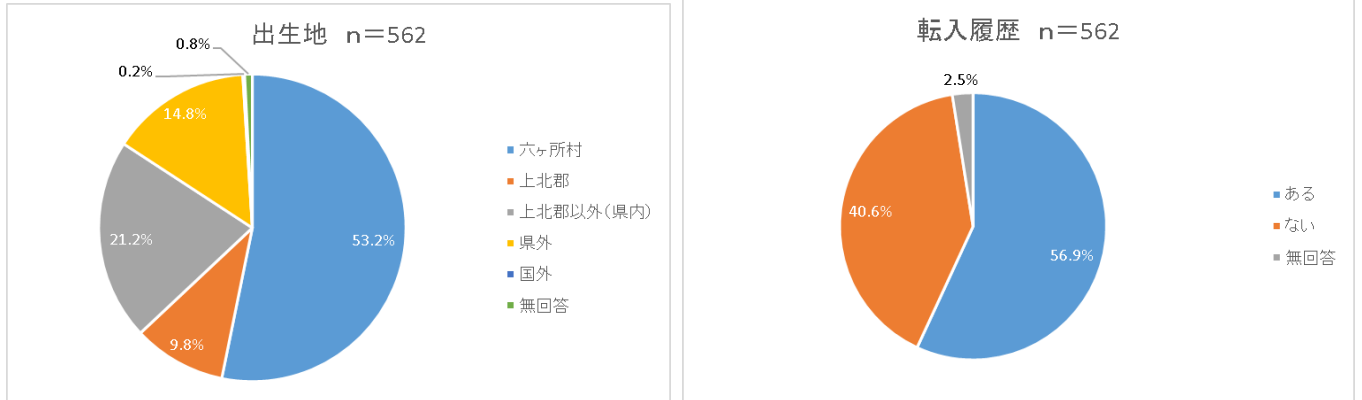


【その他】順不同

- ・一人の自由な時間に充実を感じている
- ・願望なし
- ・お金がない
- ・「結婚してよかった」と言っている人を見たことがないから
- ・興味なし
- ・魅力を感じない
- ・生活保護を受けているから
- ・結婚予定はあります
- ・向かない
- ・相手がいない
- ・未成年のためまだ早いと思うから
- ・人づきあいが煩わしい
- ・結婚、子育て終了して子世代になった
- ・出張が多い
- ・自分がやっていける自信がない
- ・結婚という事にとらわれなくて、パートナーでも良い
- ・必要がない、興味がない
- ・高齢者を扶養している為

## (8) 出生地・転入履歴

出生地は、「六ヶ所村」(53.2%)が最も多く、次いで「上北郡以外(県内)」(21.2%)、「県外」(14.8%)となっている。

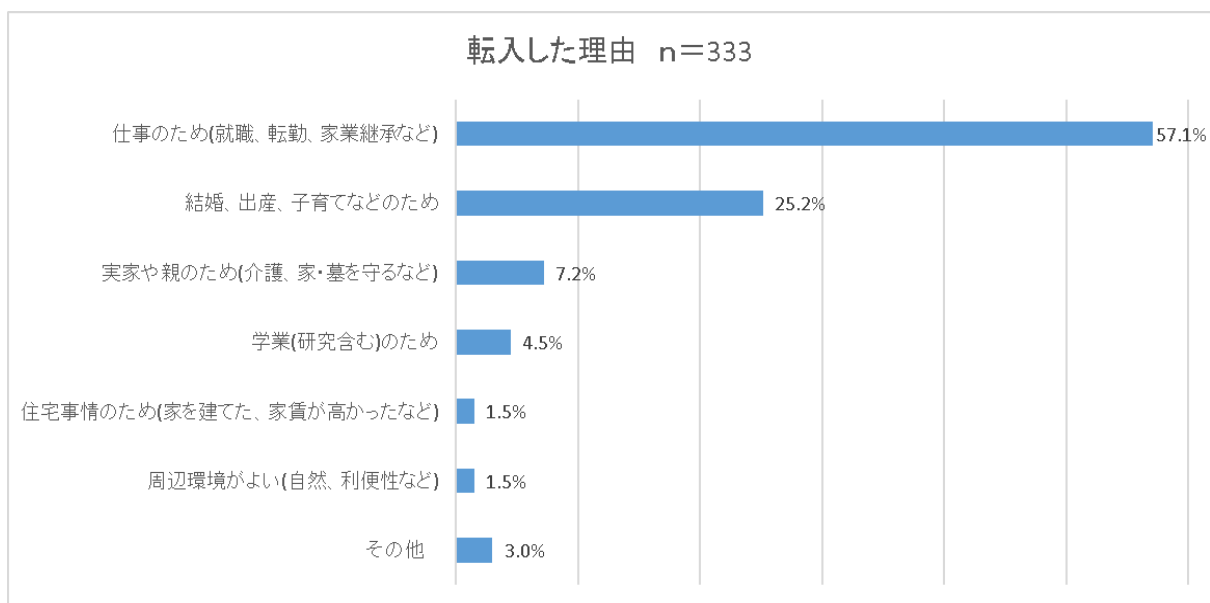


### 【県外】順不同

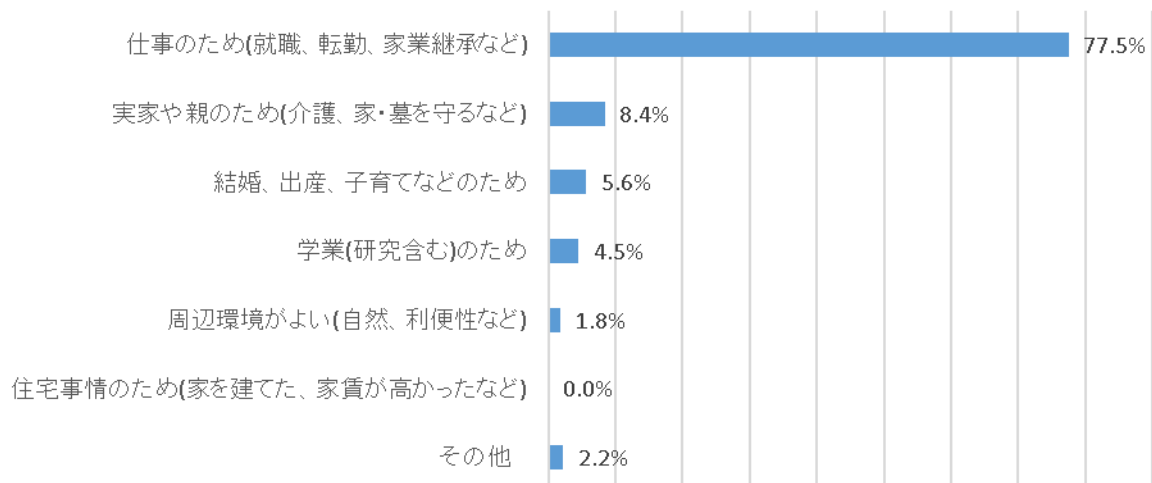
愛知県、茨城県、岩手県、岐阜県、宮城県、群馬県、埼玉県、山形県、鹿児島、秋田県、新潟県、神奈川県、静岡県、石川県、千葉県、大阪府、長崎県、鳥取県、東京都、奈良県、福岡県、福島県、北海道

## (9) 転入した理由

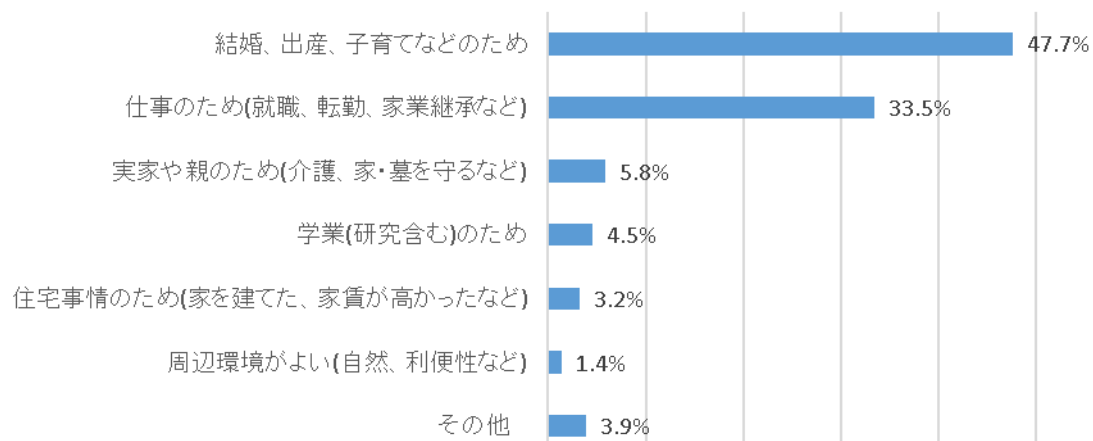
転入した理由は、「仕事のため」(57.1%)が最も多く、次いで「結婚、出産、子育てのため」(25.2%)であった。男女別で見ると、男性は約8割が「仕事のため」、女性は約5割が「結婚、出産、子育てのため」、約3割が「仕事のため」を選択している。



### 転入した理由(男性) n=178



### 転入した理由(女性) n=155



#### 【その他】

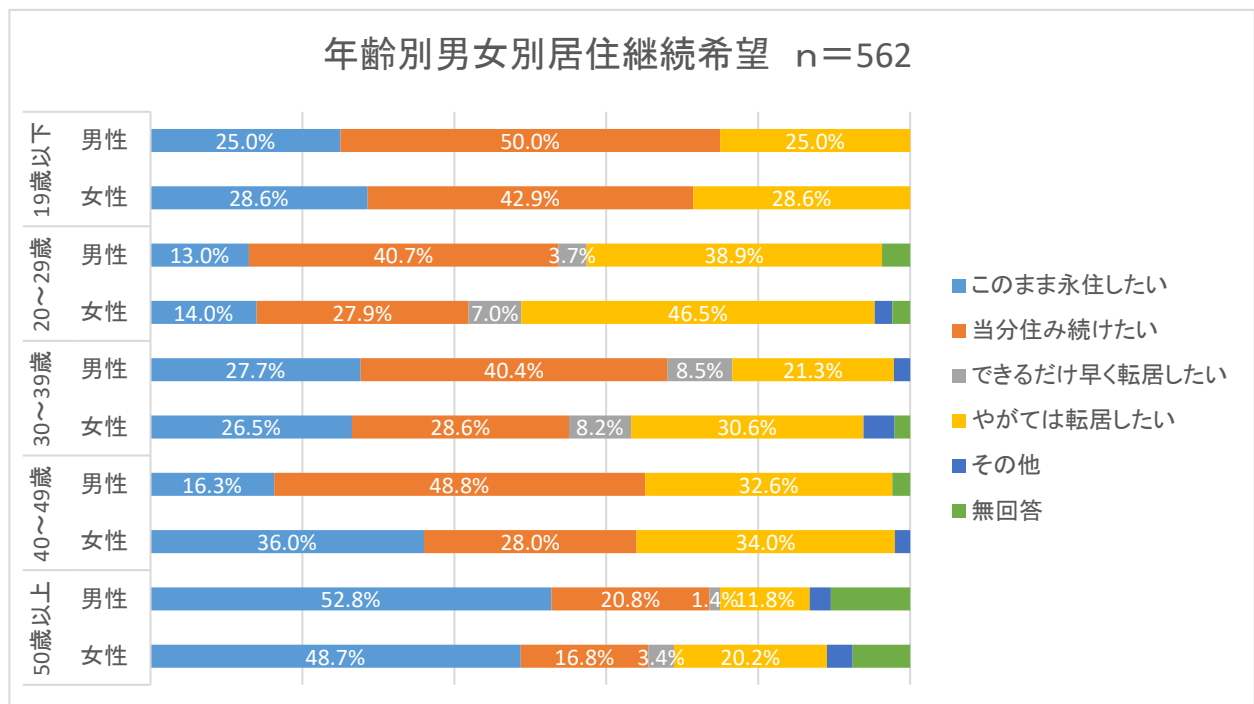
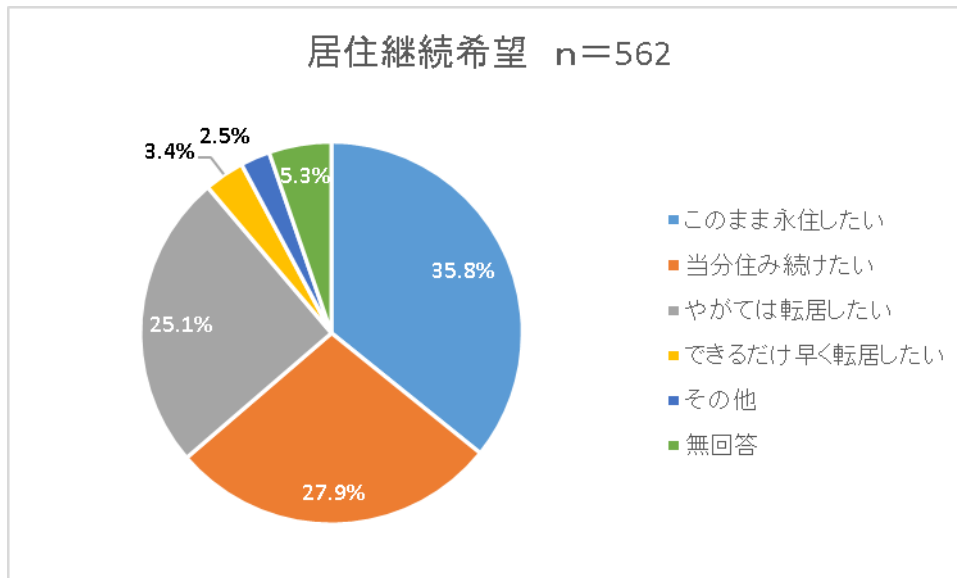
- ・仕事を辞めてきたため
- ・体調不良のため
- ・パートナーがなくなった
- ・親の事情
- ・住む場所・生活費がない
- ・親が六ヶ所村に家を建てたので小学生の時に転入



## (10) 居住継続希望

居住継続希望について、「このまま永住したい」「当分住み続けたい」と回答したのが全体の約6割、「やがては転居したい」「できるだけ早く転居したい」と回答したのが全体の約3割であった。

年齢別にみると年齢があがるにつれて居住継続希望が高まっていくことがみてとれ、男女別にみると「20～29歳」の女性の居住継続希望が最も低く、約半数が転居したいと考えていることがわかる。



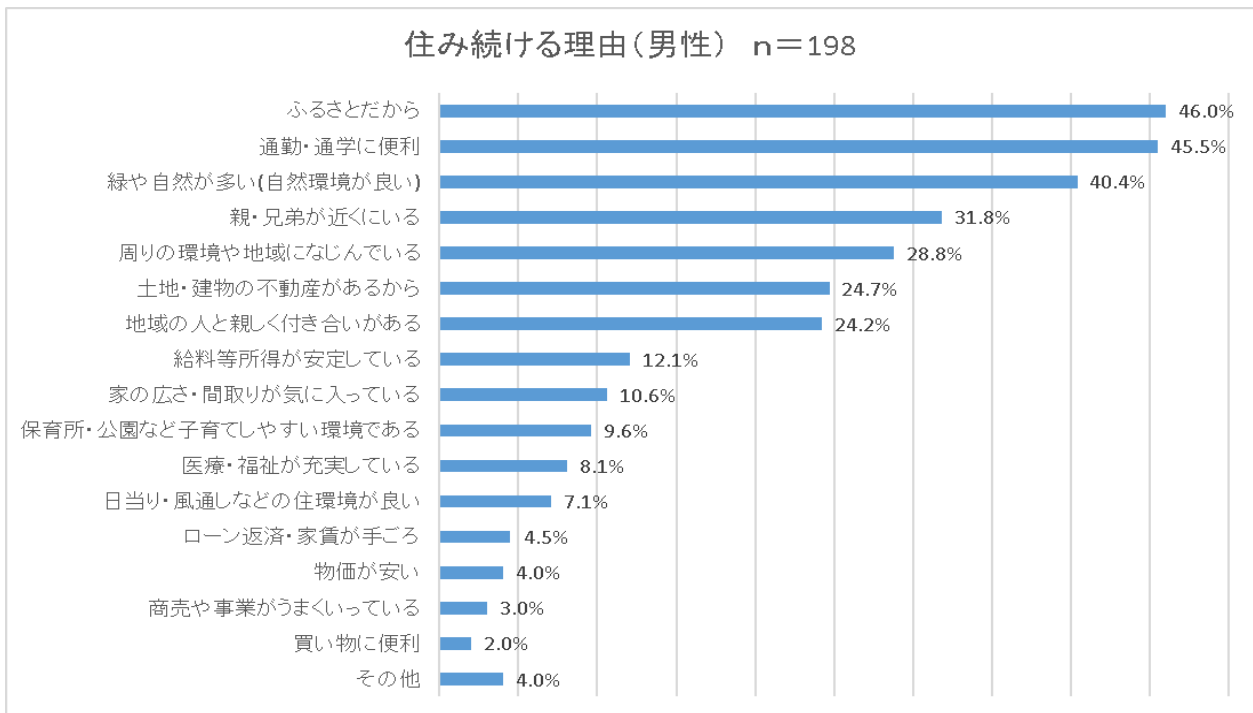
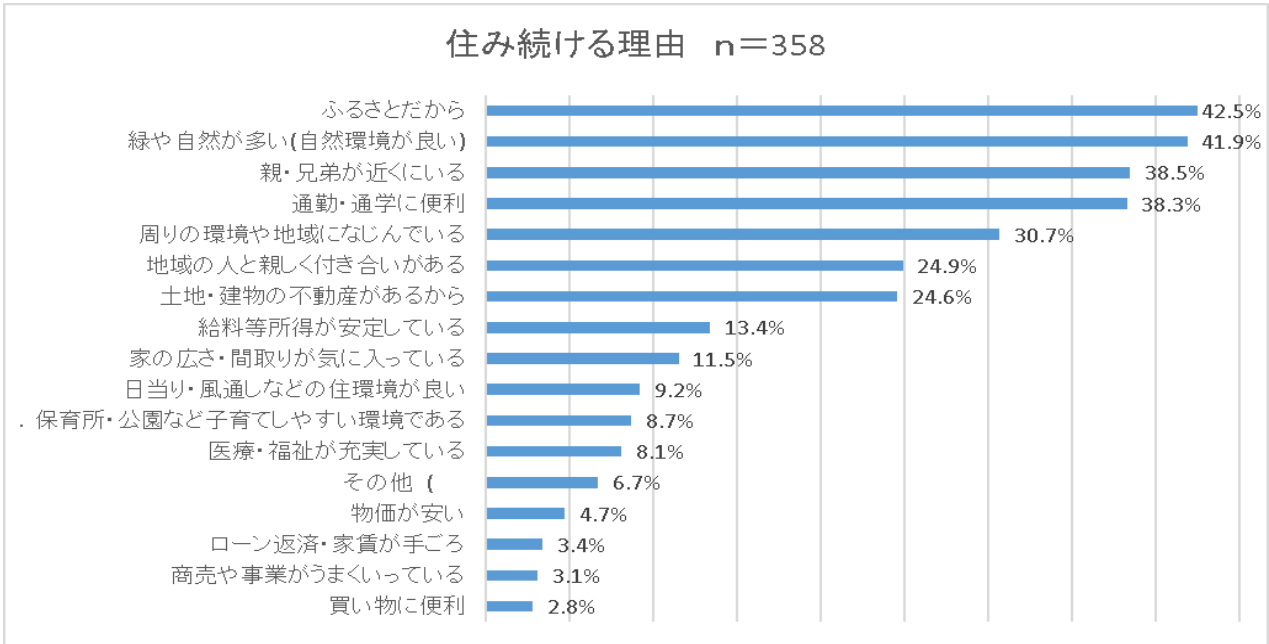
【その他】順不同

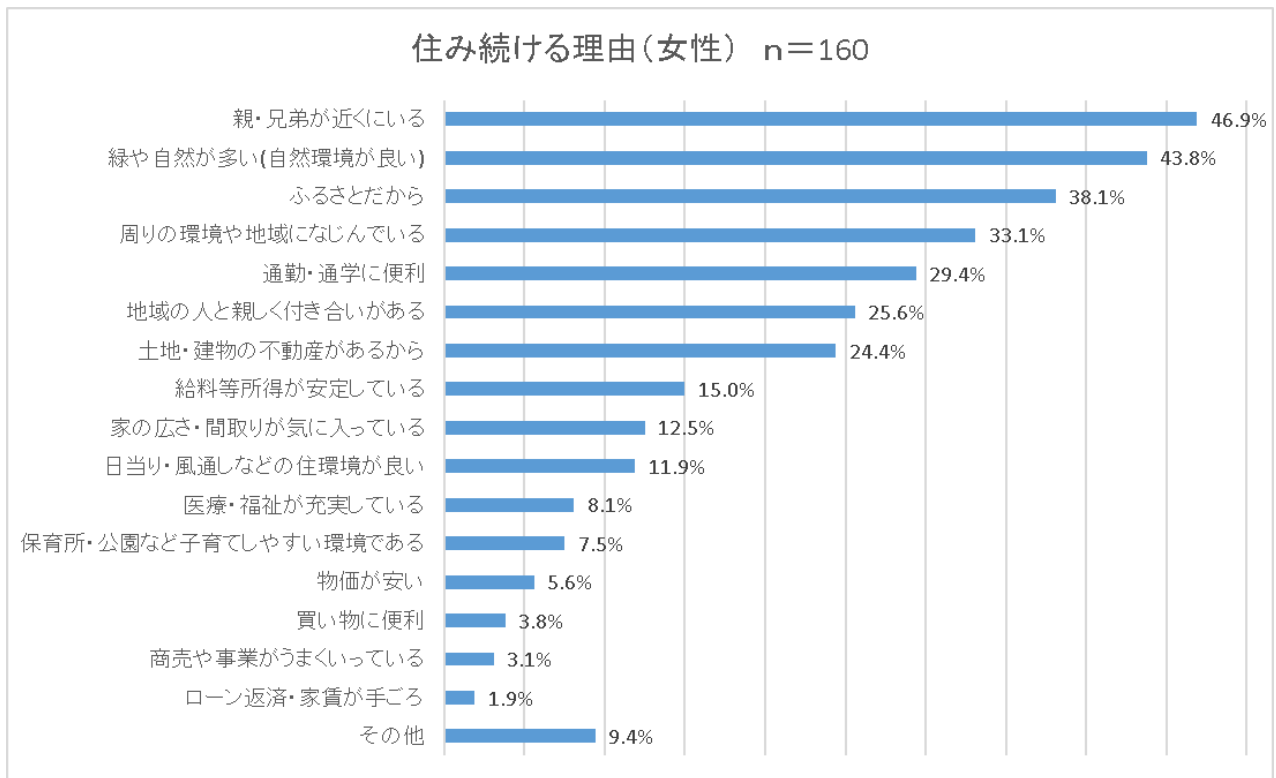
- ・ 転居したいが高齢の為
- ・ 経験を積むため他県で就職し、その後希望の就職先があれば戻って永住したい
- ・ 災害のことを考えると転居したい、冬の交通の不安
- ・ 生活状況次第、こだわりなし
- ・ 分家3代目なので、居住継続
- ・ 仕事の期間
- ・ できる事なら転居したい
- ・ 住宅地づくりがヘタである土地をもっと安くするべき
- ・ どっちでもいいが、もう少し遊ぶ場所があればいい
- ・ 結婚したら、その人と暮らすので、まだどこかはっきりしない
- ・ 異動になれば転居する
- ・ 条件が整えば転居したい

## (11) 住み続ける理由

「このまま永住したい」「当分住み続けたい」と回答した理由について、「ふるさとだから」(42.5%)と最も多く、「自然や緑が多い」(41.9%)、次いで「親・兄弟が近くにいる」(38.5%)、となっている。

男女別にみると、順位に差異はあるものの上位の項目はほぼ同様となっている。また、男性に着目すると「通勤・通学に便利」が45.5%で「ふるさとだから」に次いで多い結果となっている。



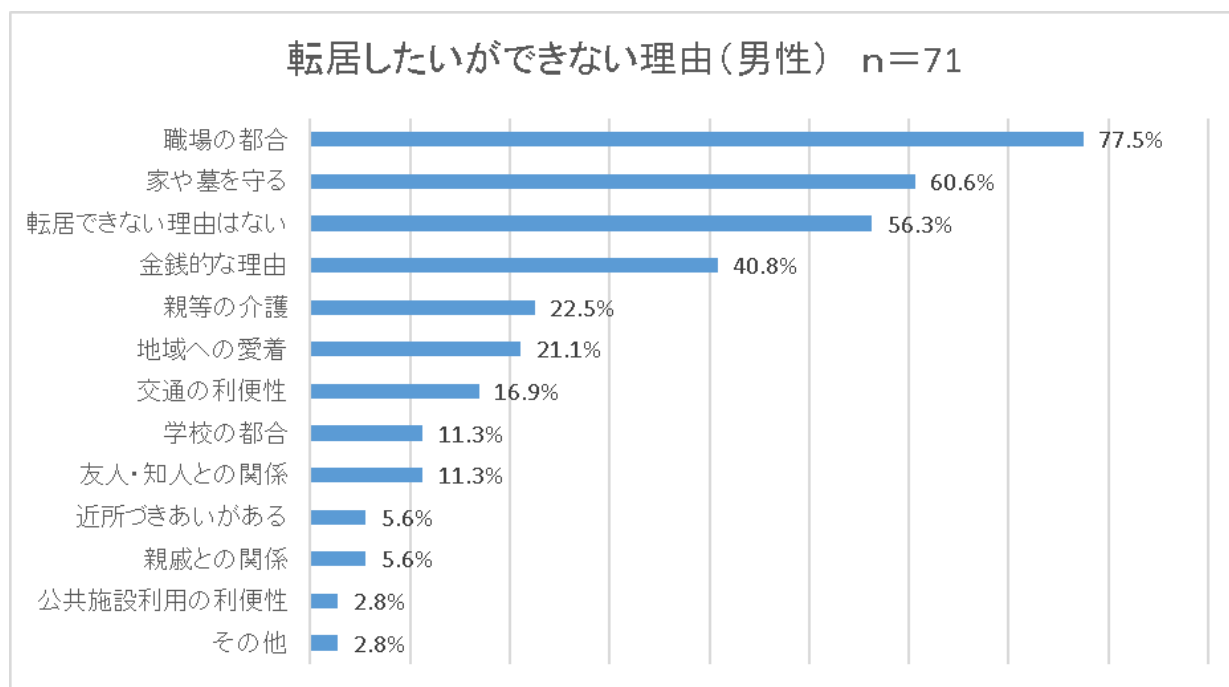
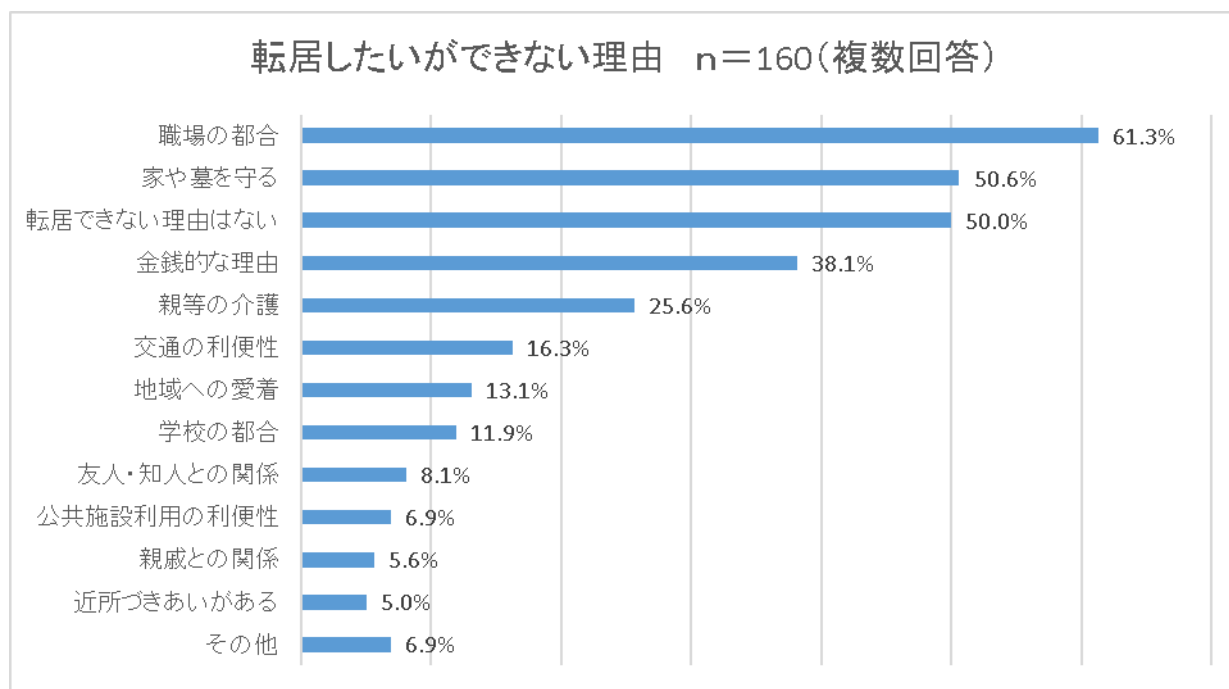


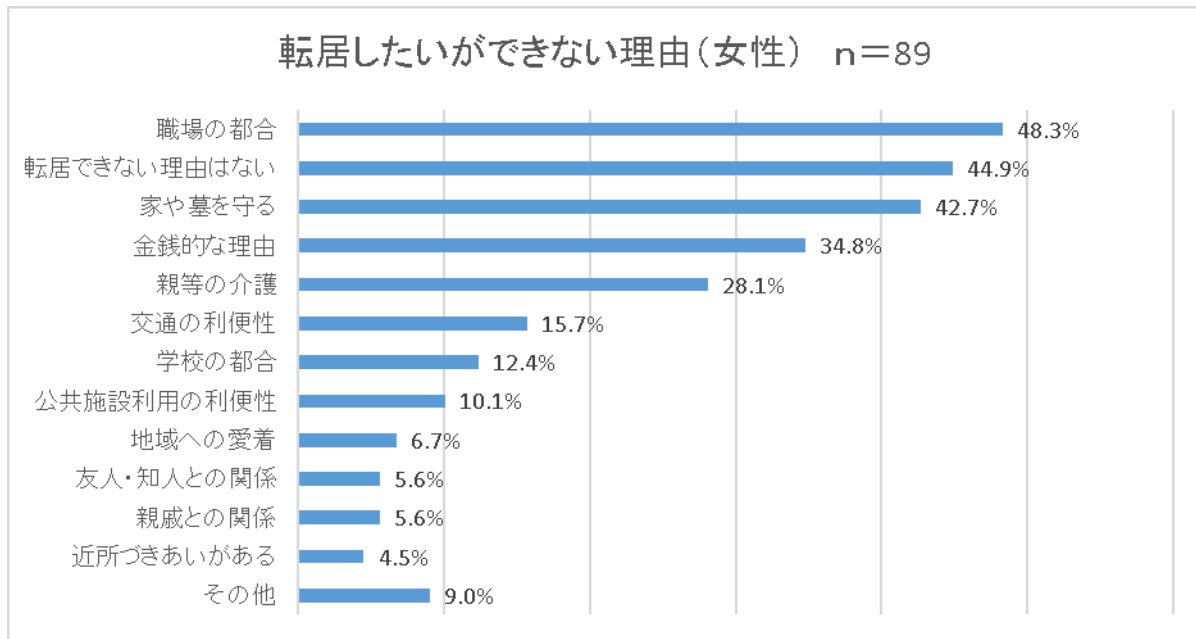
【その他】 順不同

- ・ 仕事、職場 関連のため
- ・ バスケットコートが近くにあるため
- ・ 持ち家があるから
- ・ 実家も親も亡くなり住む所がない為
- ・ 家・墓があるから
- ・ 住み慣れている
- ・ 現在の年齢ではどこにも転居したくてもできないし、子供達が家業を受け継いでいる
- ・ 夫の勤務地が、六ヶ所なので
- ・ 嫁に来てしまったから
- ・ 夫が住むから
- ・ 家を建てたから
- ・ 子供が入学し、子供にとっては故郷になった、夫婦が退職するまでは住み続ける予定
- ・ 実家なので出費が少ない
- ・ この場所で農業で長年やって生計をたてているから
- ・ 夫のふるさとだから

## (12) 転居したいができない理由

「やがては転居したい」「できるだけ早く転居したい」と回答した方が転居できない理由は、「職場の都合」(61.3%)が最も多く、次いで「家や墓を守る」(50.6%)となっている。男女別にみても上位5項目については、同様の結果となっている。





【その他】 順不同

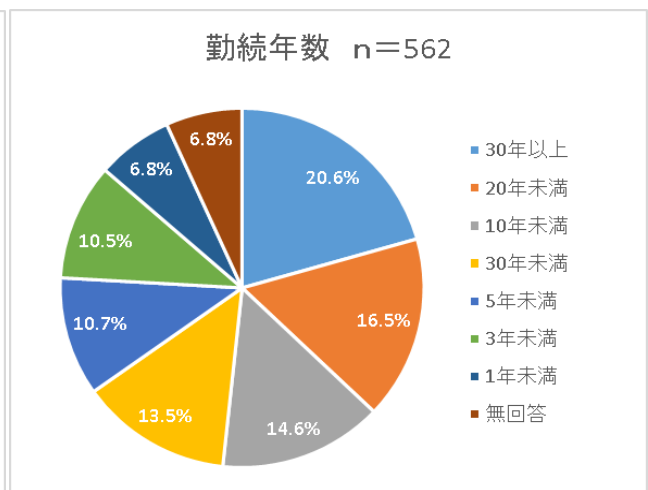
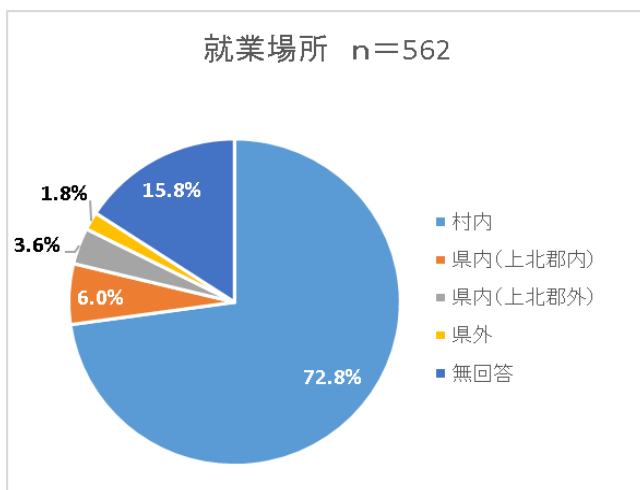
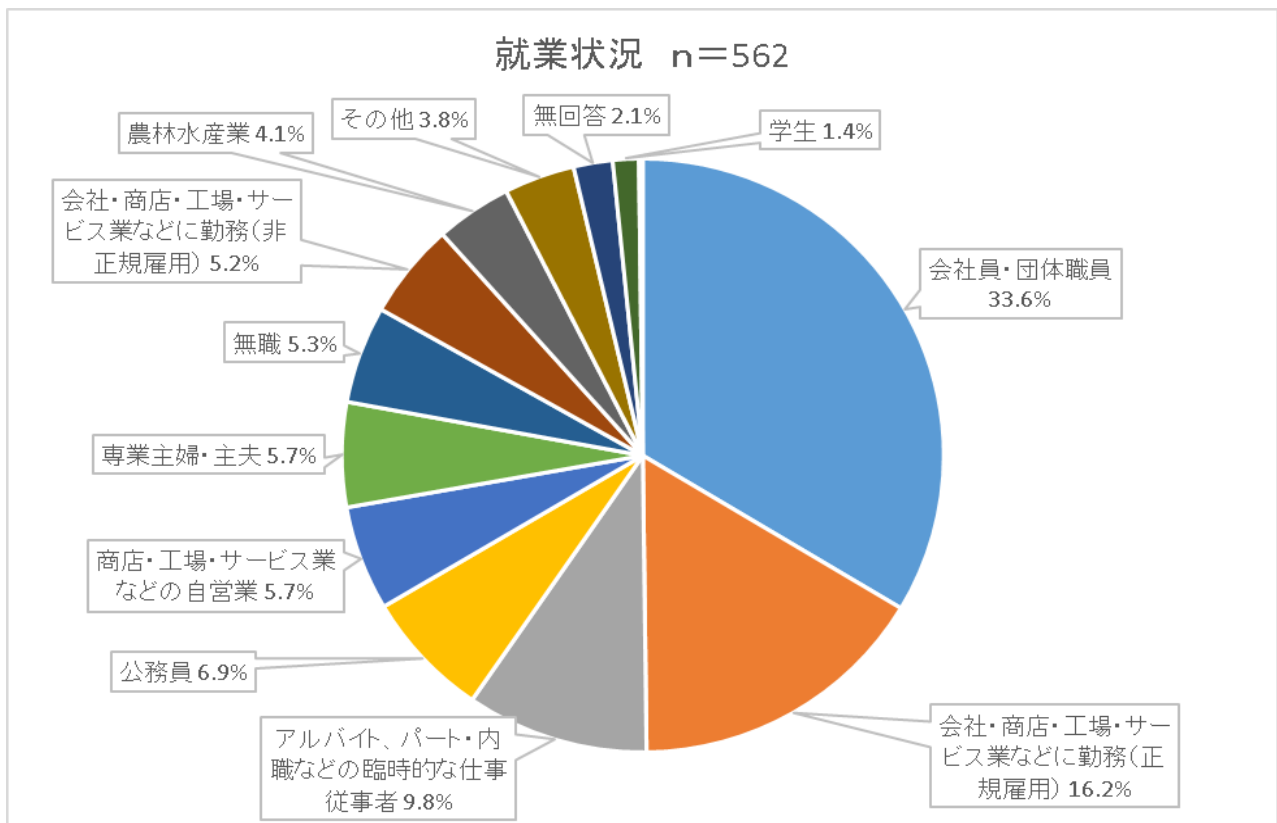
- ・ 仕事ができるかどうかわからない
- ・ 生鮮食品店までの距離がある
- ・ 配偶者の職場の都合
- ・ コロナのため転居できません
- ・ 店が少ない
- ・ 家業がある
- ・ 通勤をかんがえると…

## 4 「しごと」に関する調査

### (1) 就業状況・就業場所・勤続年数

就業状況について、「会社員・団体職員」(33.6%)が最も多く、次いで「会社・商店・工場・サービス業などに勤務(正規職員)」(16.2%)、「アルバイト、パート・内職などの臨時的な仕事従事者」(9.8%)となっている。

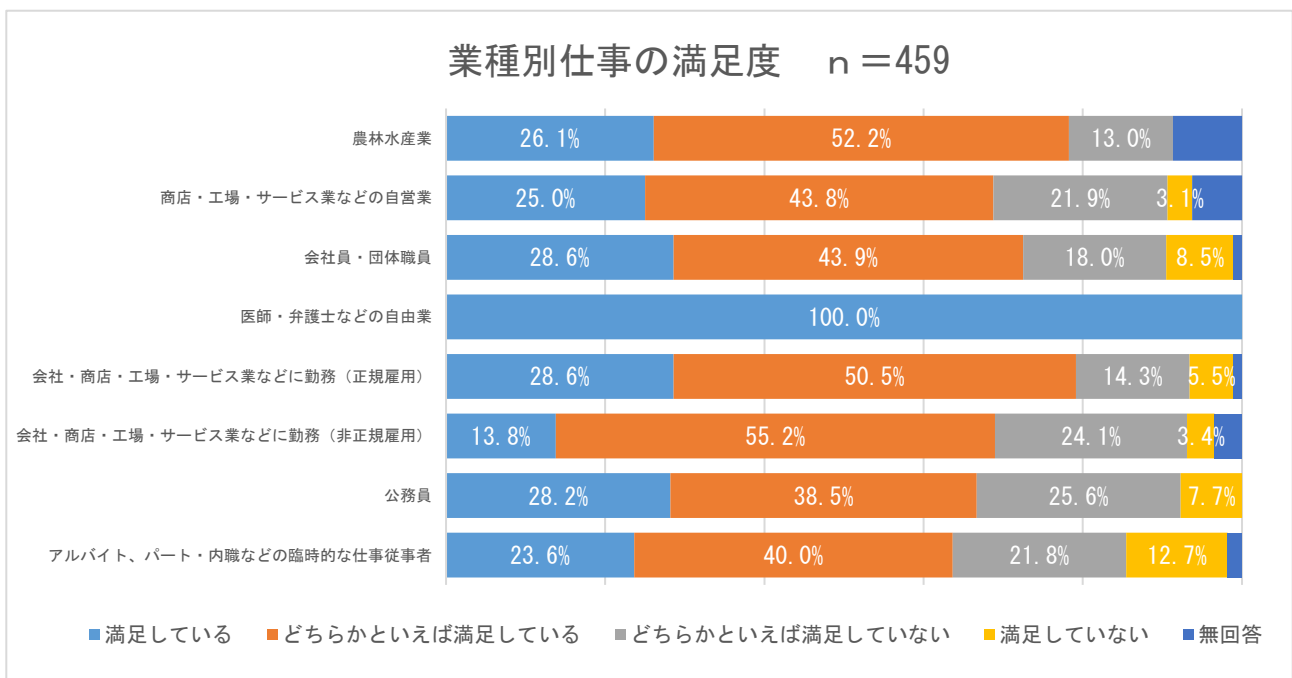
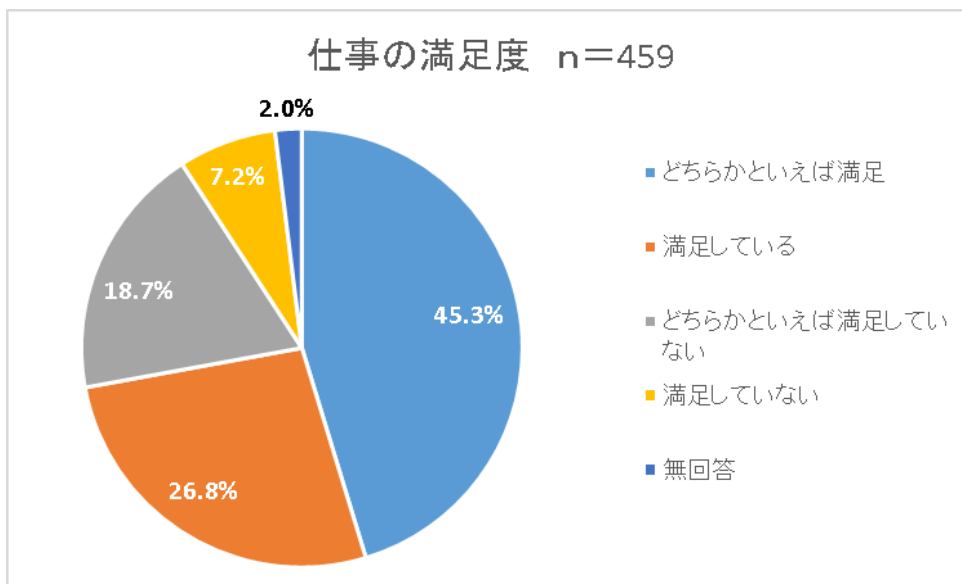
就業場所は「村内」(76.4%)が最も多く、次いで「上北郡内」(6.4%)となっており、勤続年数は「30年以上」(20.6%)が最も多く、次いで「20年未満」(16.5%)となっている。



## (2) しごとの満足度

しごとの満足度（「専業主婦・主夫」「学生」「無職」を除く。）について、「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答したのが全体の約7割、「どちらかといえば満足していない」「満足していない」と回答したのが全体の約3割であった。

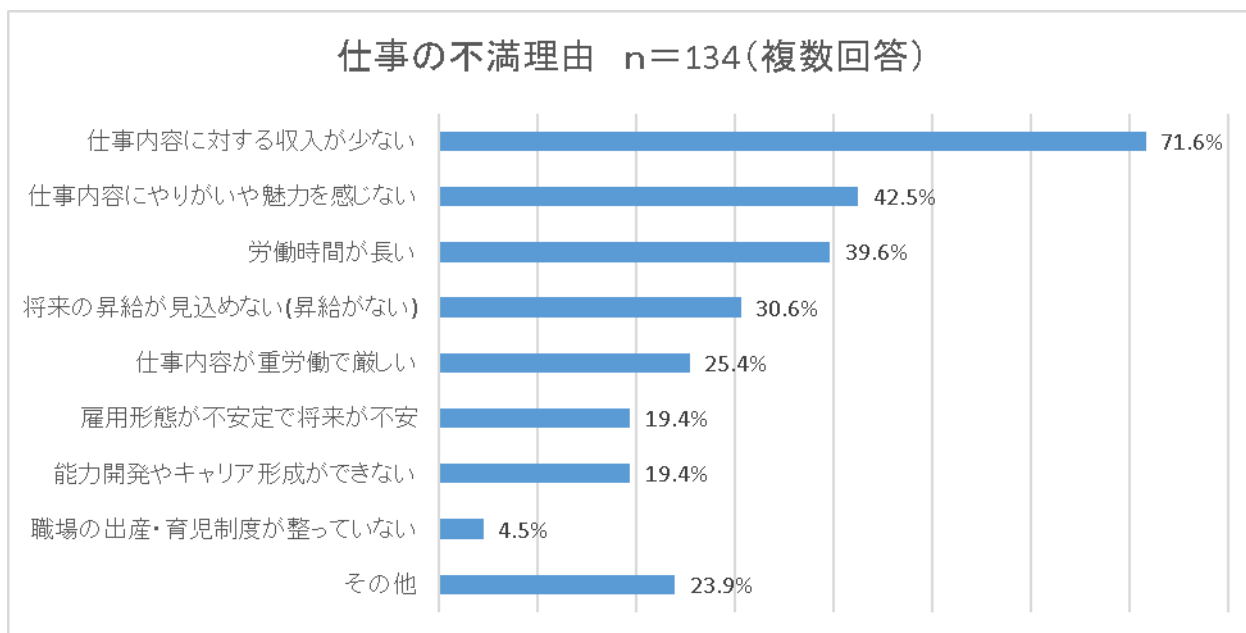
業種別にみると、「農林水産業」「会社・商店・工場・サービス業などに勤務（正規雇用）」で満足度が高く、約8割の方が「どちらかといえば満足」以上を回答している。一方、満足度が低い業種は「公務員」「アルバイト、パート・内職などの臨時的な仕事従事者」で、約3割の方が「どちらかといえば満足していない」「満足していない」を選択している。





### (3) しごとの不満理由

「どちらかといえば満足していない」「満足していない」と回答した理由は、「仕事内容に対する収入が少ない」(71.6%)が最も多く、次いで「仕事内容にやりがいや魅力を感じない」(42.5%)、「労働時間が長い」(39.6%)となっている。



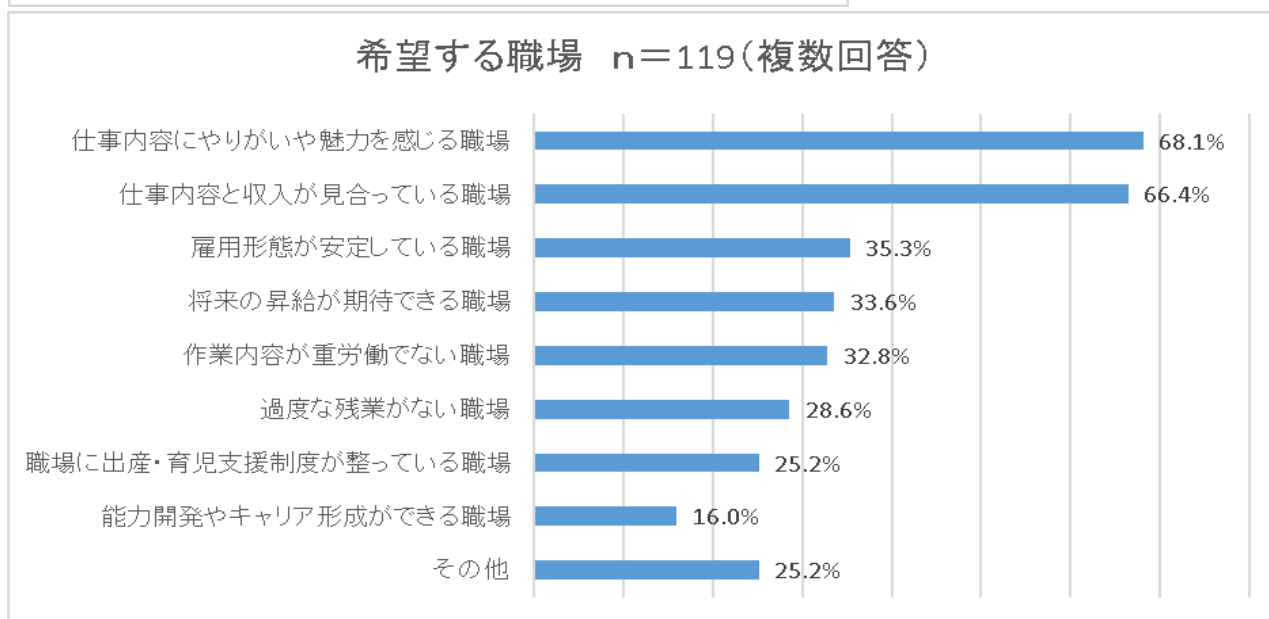
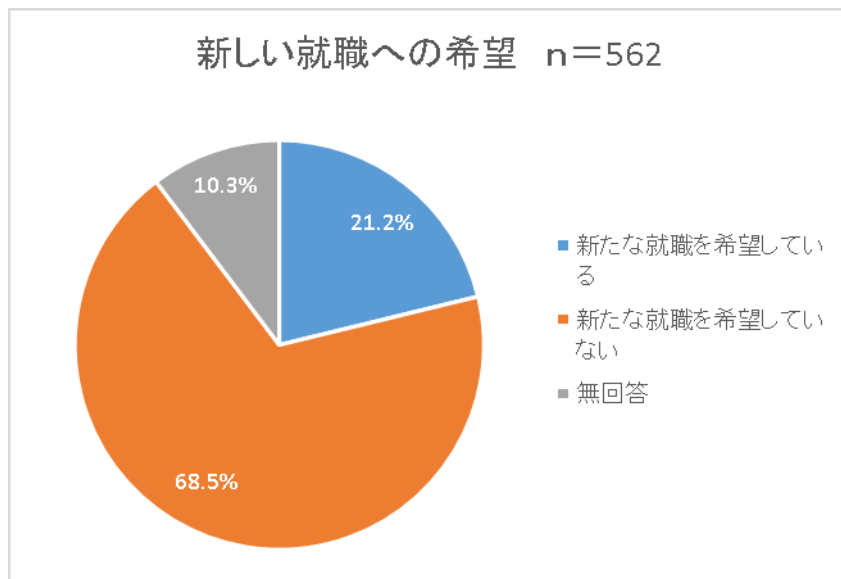
#### 【その他】 順不同

- ・時給があがらない
- ・仕事が単調すぎて、制限がありすぎる
- ・コロナでカラオケを伴う飲食店に客がこない
- ・やりたい仕事ではない
- ・法律は色々改正されているのに、時給は上がらないし、退職金もない
- ・能力開発やキャリア形成ができない事からくる将来への不安
- ・結婚後、快適に生活できる立地ではないため
- ・少人数のため妊活がむずかしい
- ・労働条件が悪い
- ・妊娠したら辞めざるをえない職場、子育てに協力を得られない
- ・休日が少ない
- ・上司からのモラハラ
- ・土地(業務用)の取得が困難な地域
- ・通勤手当がないのにガソリン値上がり中
- ・職場の人間関係がうまくいかない
- ・人間関係で差別があるため
- ・忙しい時と普通の時との差が激しい
- ・人手不足
- ・職場の妊婦や子持ち女性に対する理解がない(育休中に早めの復職を促される)

#### (4) 新しい就職への希望・希望する職場

新しい就職（復職・再就職含む）への希望について、約7割が新しい就職を希望していない一方、約2割は新しい就職を希望している。

「新しい就職を希望している」と回答した方が希望する職場は、「仕事内容にやりがいや魅力を感じる職場」（68.1%）が最も多く、次いで「仕事内容と収入が見合っている職場」（66.4%）となっている。

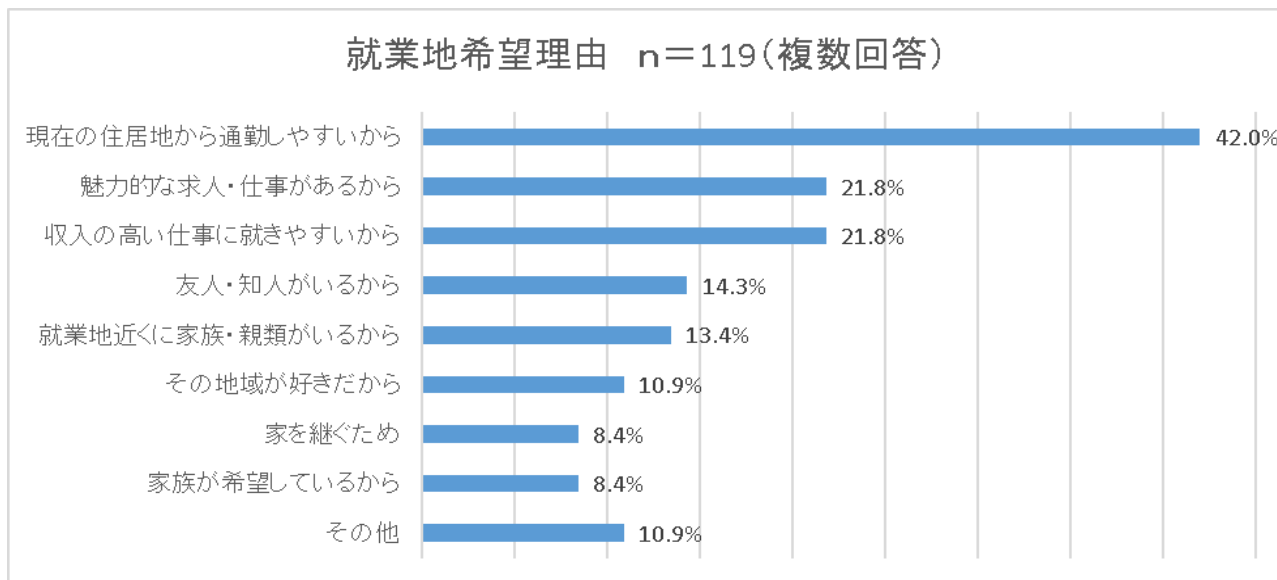
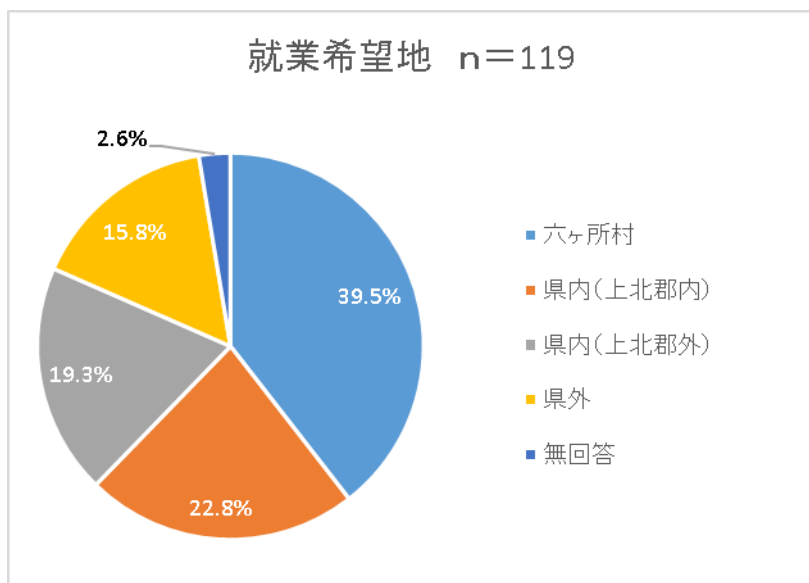


【その他】 順不同

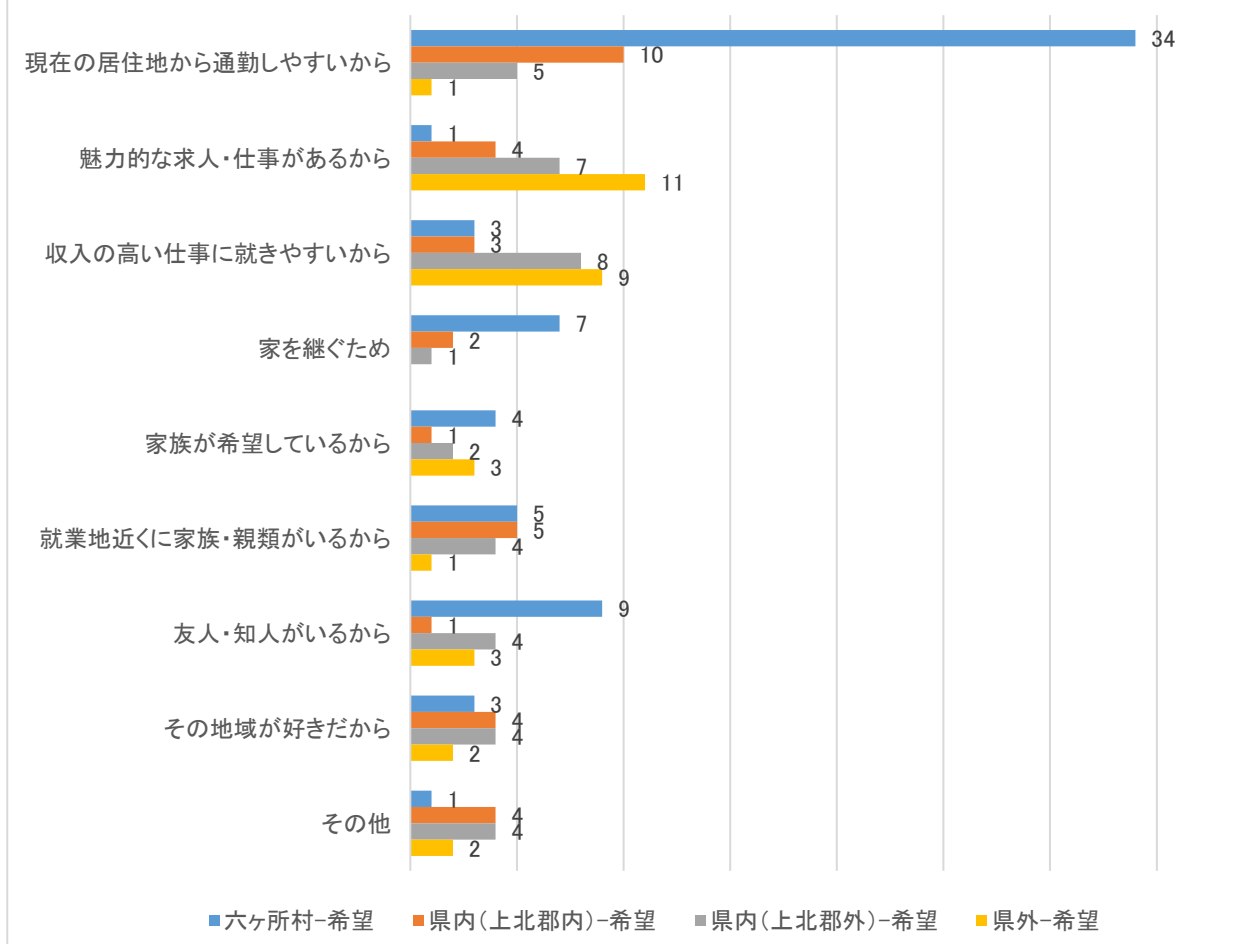
- ・ 人が嫌な顔をしないで大変でも忙しくても楽しそうな職場
- ・ 人間関係の良い所
- ・ 過大なノルマのない職場、(働き方改革)、チームワークでこなす業務
- ・ やりたい仕事ができる職場
- ・ 人口 10 万人程度の市にある会社
- ・ 早期リタイヤ、家庭菜園

## (5) 就業希望地・就業地希望理由

「新しい就職を希望している」と回答した方の就業希望地は「六ヶ所村」(39.5%)が最も多く、次いで「上北郡内」(22.8%)となっている。就業希望地別希望理由をみると、「六ヶ所村」「上北郡内」を就業地として希望する方は「現在の居住地から通勤しやすいから」を最も多く選択しており、一方「県外」を就業地として希望する方は「魅力的な求人・仕事があるから」「収入の高い仕事に就きやすい」の選択が多い結果となった。



## 就業希望地別希望理由 n=119(複数回答)



### 【その他-上北郡内を希望する方】 順不同

- ・ 遠くもなく近すぎないから
- ・ 適度な軽労働で能力を発揮できる職場の為
- ・ 自宅があるから
- ・ 今の家から通勤可能だから
- ・ 転勤等に関わり、どの市町村でも勤務できる、しやすい自治体を希望

### 【その他-上北郡外を希望する方】

- ・ 六ヶ所は移動に時間がかかるので車で 10 分以内に買い物したい場所（スーパー2 件、洋服屋、飲食店、ショッピングモール）が揃っていると助かります
- ・ 村内以外なら
- ・ 生活に便利な店がたくさんあり、住みやすい
- ・ 住居の選択肢が多いため（マンション等）

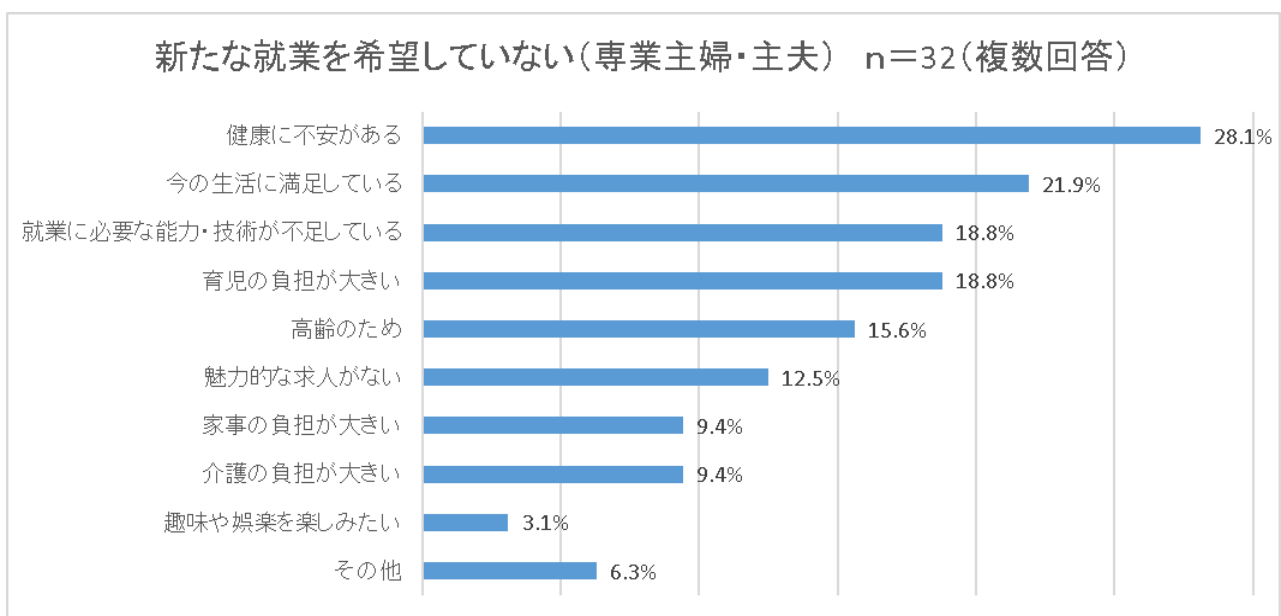
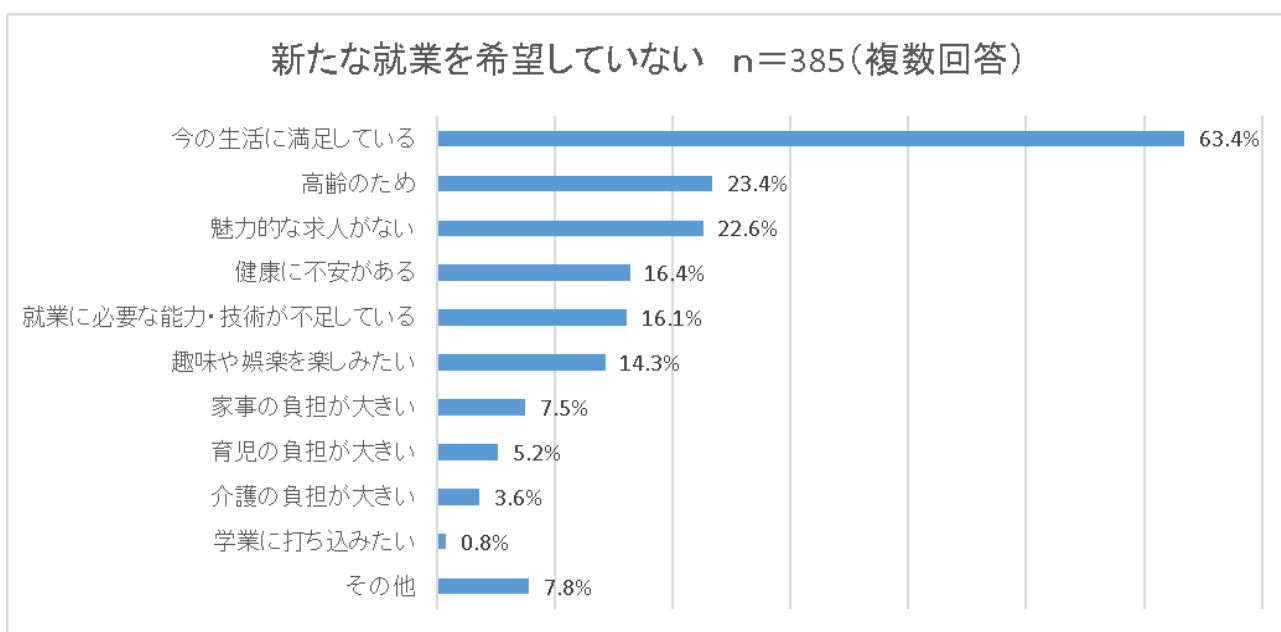
### 【その他-県外を希望する方】

- ・ 生活の利便性が良い地域
- ・ 就業地までの交通の利便性
- ・ 経験を積みたい

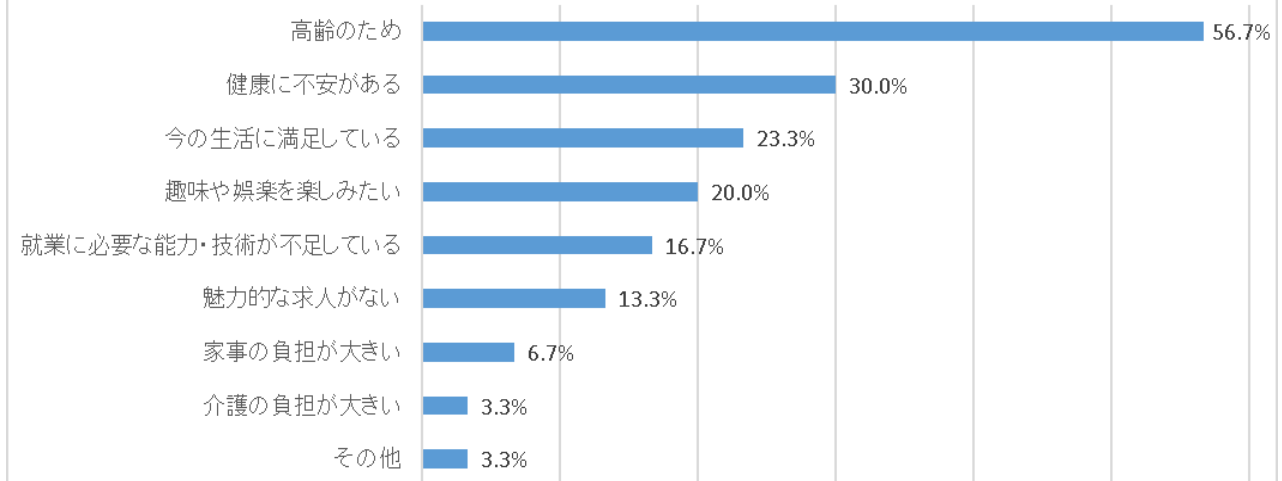
## (6) 新たな就業を希望しない・就業できない理由

新たな就業を希望しない・就業できない理由について、全体では「今の生活に満足している」(63.4%)が最も多く、次いで「高齢のため」(23.4%)、「魅力的な求人がない」(22.6%)となっている。

「専業主婦・主夫」の理由は「健康に不安がある」(28.1%)、「今の生活に満足している」(21.9%)が最も多く、また、「無職」の理由は「高齢のため」(56.7%)が最も多く、次いで「健康に不安がある」(30.0%)となっている。



### 新たな就業を希望していない(無職) n=30(複数回答)



#### 【その他】 順不同

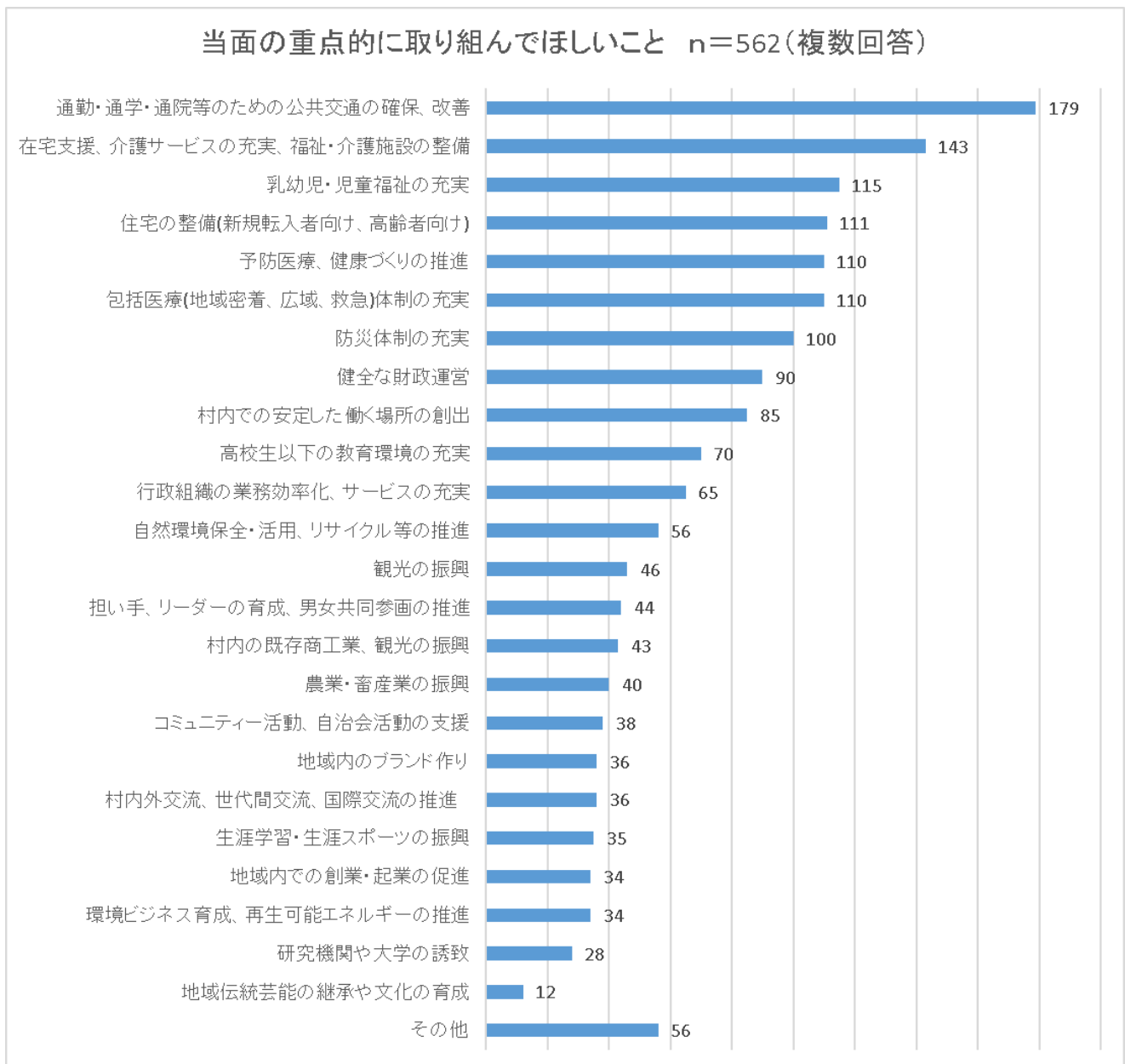
- ・勉強のため
- ・収入が下がってしまう
- ・現在の就業を継続したまま勉強もしたいため
- ・ひとり親の為
- ・病気のため
- ・自力で通勤できない為
- ・年寄りの世話、孫の育児の協力
- ・通勤時間が長く、冬場が大変
- ・実家なので
- ・会社経営のため選択肢がない
- ・会社での人間関係に恵まれている
- ・現在の勤め先で満足している
- ・1人の上司以外に不満はないから
- ・職場の労働環境（残業、膨大な業務）が改善すれば、そのまま働きたい
- ・起業したい
- ・貯金を増やすため

## 5 「まち」に関する調査

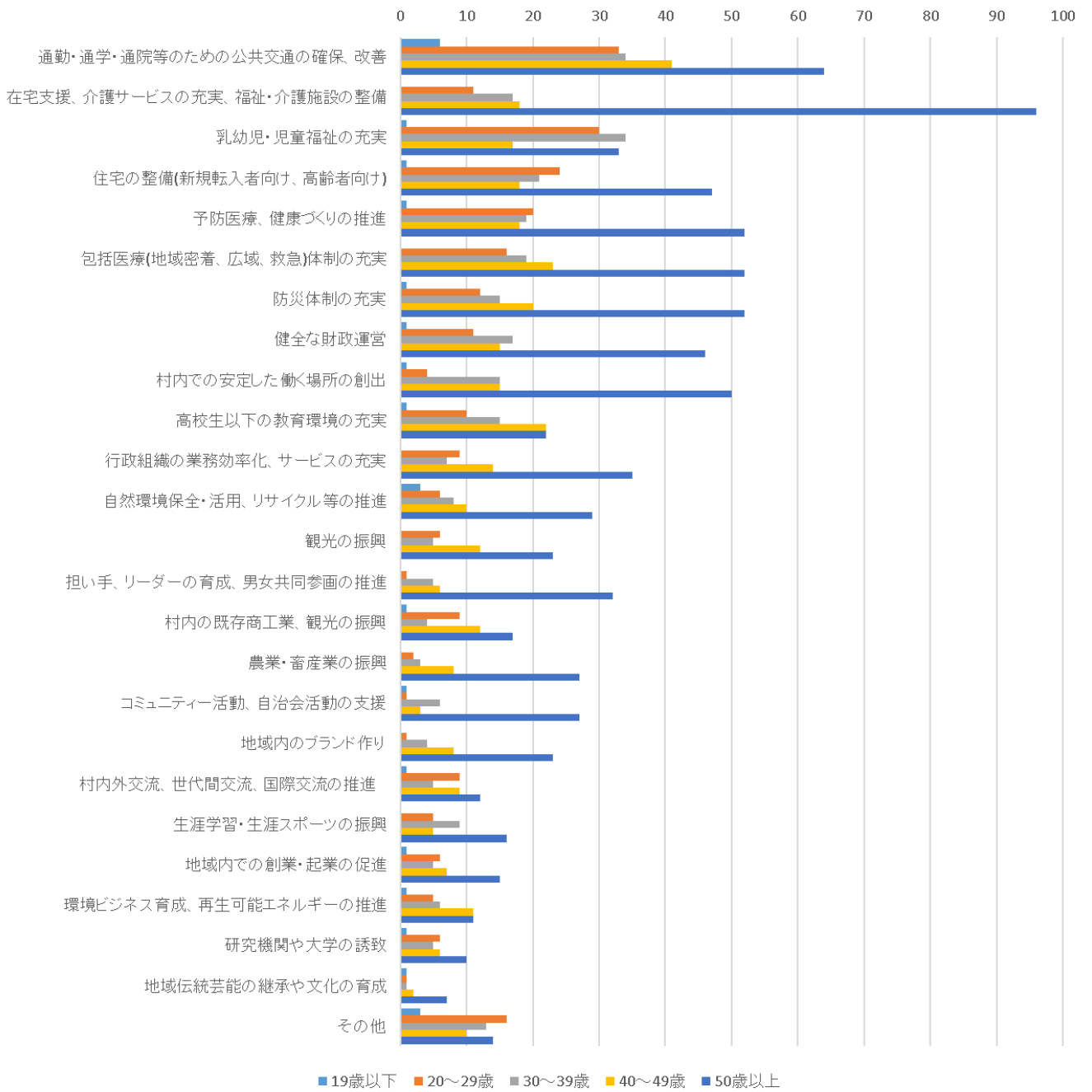
### (1) 当面の重点的に取り組んでほしいこと

当面の重点的に取り組んでほしいことについて、「通勤・通学・通院等のための公共交通の確保、改善」(179件)が最も多く、次いで「在宅支援、介護サービスの充実、福祉・介護施設の整備」(143件)、「乳幼児・児童福祉の充実」(115件)となっている。

年齢別にみると、「50歳以上」は「在宅支援、介護サービスの充実、福祉・介護施設の整備」を、それ以外の年代は「通勤・通学・通院等のための公共交通の確保、改善」を最も多く選択している。なお、30代では「乳幼児・児童福祉の充実」についても同数となった。



### 年齢別当面の重点的に取り組んでほしいこと n=562(複数回答)





※各選択肢に関する具体的な意見は以下のとおり

【1.農業・畜産業の振興】 順不同

- ・補助金を機械購入の時出してもらいたい
- ・自律できる経済支援
- ・集団経営（給料制）
- ・おいしい食物の商品開発
- ・六ヶ所村の一品開発
- ・強力にPRを
- ・漁業の振興、補助金の増額
- ・後継者がいない
- ・高齢農業者への人手支援（草取り等）
- ・村内の牛乳宣伝
- ・諸支援の継続、充実
- ・耕作放棄地の解消事業
- ・六次産業化の検討
- ・最適化、共同化

【2.村内での安定した働く場所の創出】 順不同

- ・物流、工場
- ・定年後の就職先
- ・主婦が働く環境が少ない
- ・介護老人施設増やす
- ・スーパーの誘致
- ・賃金低すぎる
- ・企業誘致
- ・観光施設等
- ・村営の商業施設等
- ・美容関係
- ・シルバーの就職先
- ・ワクチン・医薬品工場の誘致
- ・加工工場の誘致または、建設
- ・高齢者が働く加工場等

【3.研究機関や大学の誘致】 順不同

- ・原子力以外
- ・六ヶ所高校に工業系学科を作り、大学へ入学できるようになればいい。工業大学を村に創設
- ・エネルギー関連の講義
- ・専門学校でもいいと思う

- ・再処理工場を基盤とした理工学部の大学
- ・遺跡
- ・全国の原子力関連研究者向けの研究施設の設立

#### 【4.村内の既存商工業、観光の振興】 順不同

- ・商業地域の拡充
- ・食料品スーパーの充実
- ・他町村に比べ積極性が足りないと思う
- ・せめてスーパーがもう一つほしい
- ・自然を生かした観光
- ・六旬館が頑張っていると思う
- ・飲食店、昼食をする所
- ・PRしていくこと PR 不足
- ・パオ、バンガローの最大級のキャンプ場など
- ・商業施設、マック等
- ・すきや、牛丼屋が欲しい 24h のたべものや

#### 【5.観光の振興】 順不同

- ・イベント、海の駅、みやげ売場
- ・泊→トトロ-道路整備
- ・尾駁又は大石にオートキャンプ場とその商店を作ってほしい
- ・アピールが足りない
- ・景色よき場所への観光施設立地
- ・登山
- ・ホテル等の宿泊施設を充実させてほしい
- ・村内にたくさんある湖を活用
- ・くつろげる公園とか
- ・レジャー施設
- ・写真スポット
- ・倉内、中志の湖畔にキャンプ場
- ・ひまわり、芝桜など広範囲で咲かせる
- ・海、山、川をいかしたもの
- ・ジェットスキー等の専用ハーバーを造るなど
- ・キャンプ場、大型遊具が整備されている公園等（サイクリングコース等）
- ・ろっかぽっか周辺の観光開発

【6.地域内のブランド作り】 順不同

- ・ ケーキ、クッキー、アイスクリーム
- ・ 農業漁業
- ・ 地元限定品
- ・ 海産物
- ・ お土産がない
- ・ 村だけじゃなく地区も参加
- ・ ブルーベリー
- ・ 飲食だけでなく綺麗になれる場所を増やしてほしい
- ・ 牛乳のブランド作り
- ・ 冷涼な気候を活用した避暑／別荘地としての地域ブランド化
- ・ 農水産物の加工等
- ・ 海産物のブランド化
- ・ アイスクリーム

【7.地域内での創業・起業の促進】 順不同

- ・ 土地を買いやすくする
- ・ 農産物加工起業等への融資
- ・ 飲食業をサポートする
- ・ 起業資金の援助

【8.高校生以下の教育環境の充実】 順不同

- ・ 各種検定〇〇級まで半額、〇〇級以上無料
- ・ 六ヶ所高校・専門課とか
- ・ 英会話
- ・ キャリア教育、グローバル教育の拡充
- ・ QSTによる出張授業（学生相手だけでなく）プログラム授業 etc
- ・ 部活が少ない
- ・ 早期に村内中学校合併
- ・ 習い事教室
- ・ 全国に先駆けた英語や実用的な法律教育
- ・ 習い事が少ない。選択肢が少ない
- ・ 学習塾（学力レベル毎の）
- ・ 教育水準を上げてほしい。六ヶ所高校が足かせになっている
- ・ 八戸、三沢、青森などで下宿・寮などの提供
- ・ イジメなどにあった場合の子供が通える施設があったらいい
- ・ 授業料無料

【9.生涯学習・生涯スポーツの振興】 順不同

- ・クラブ活動等
- ・老人・障害者のスポーツ振興
- ・高校生以下のスポーツイベント新設
- ・高齢者でも楽しく学べる所（オレンジカフェのようなもので対象者をもっと広く）
- ・学生のゴルフ部
- ・スポーツを増やす
- ・大石総合運動公園内に合宿所を作ってほしい
- ・釣りの振興

【10.地域伝統芸能の継承や文化の育成】 順不同

- ・文化財の保護等
- ・獅子舞など
- ・各地域の神楽の継承問題の解決
- ・神楽を伝統文化として小・中学校で取り入れる

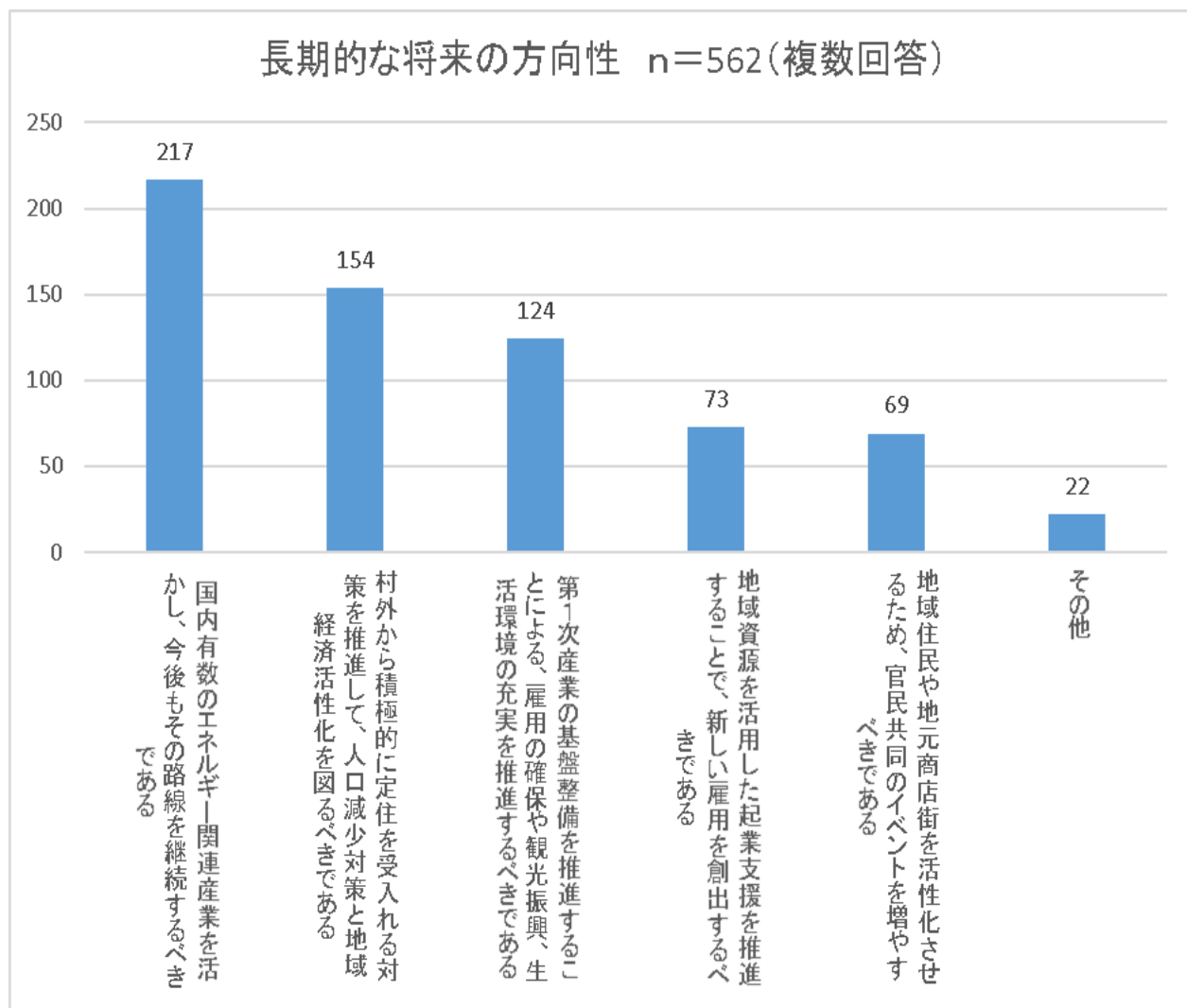
【その他】

- ・リーブ以外の商店、ビデオレンタル店、ファストフード店があればいい
- ・乳幼児医療費無料の制限年齢を増やす
- ・レイクタウン北地区の環境整備
- ・日曜日等の買い物バスが利用できる様にして欲しい
- ・住民税の引き下げ
- ・道路整備（拡張整備、路面凸凹のない道）
- ・地元水産物を扱う市場の整備
- ・若者の遊び場が少ない
- ・独身女性、低所得者の生活をどうにかしてほしい
- ・鉄道網の整備
- ・子ども読書活動の推進
- ・障害の子でも企業の就職を斡旋して欲しい。
- ・中地区まで行かないと薬などを買えないため近くに遅くまで営業しているドラッグストアがほしい
- ・商業施設、健全な娯楽施設の充実
- ・若い人が住みたくなる街づくり
- ・軽自動車税の支払い方法（コンビニなど）
- ・むつ市にあるムチュらんどのような子供の遊技場があれば良い
- ・泊地区を活性化してほしい。
- ・ベーシックインカム制度の導入
- ・小児科が近くにない（乳幼児などの急病時に困る）
- ・人口減少に対する取り組み

- ・ スポ少バスの運転手をかえてほしい。今すぐ!!
- ・ 最低賃金の見直し。六ヶ所の賃金は低すぎる
- ・ 六ヶ所村から野辺地、三沢の高校へ通えるスクールバス希望
- ・ 自治会に入れてもらえない
- ・ 産婦人科の病院、育児用品・子供服が売っている店が欲しい
- ・ 高齢者に対しての支援、サービスの充実
- ・ 七戸十和田駅乗合タクシーの増便
- ・ 医療の充実（特に緊急時の対応が悪い）、村営の子ども園での教育の充実
- ・ 今後増加が予想される空家対策
- ・ 家を継ぐ者がいない。高齢者向けのアパートがあればと思う

## (2) 長期的な将来の方向性

長期的な将来の方向性について、「国内有数のエネルギー関連産業を活かし、今後もその路線を継続すべきである」(217件)が最も多く、次いで「村外から積極的に定住を受け入れる対策を推進して、人口減少対策と地域経済活性化を図るべきである」(154件)、「第1次産業の基盤整備を推進することによる雇用の確保や観光振興、生活環境の充実を推進するべきである」(124件)となっている。



## 【その他】 順不同

- ・ 障害児・者のサポートを充実させて欲しい。療育や放課後デイサービスが無いので同様のお子さんを持った方が居た場合苦労するので
- ・ 空き家の撤去、整備、地域の集会、行事の撤廃 班編成による集まり、資料の配布等は、現代の生活リズムでは、望ましくない 班長の負担であり、無駄な労力である
- ・ 原燃社員の定住対策、村独自の思い切った定住対策と、将来村民が不公平感を感じない政策
- ・ 自然エネルギー産業への注力を期待します
- ・ 高齢者施設
- ・ エネルギー以外の会社、工場の誘致し、科学を活かした観光を増やす（つくばのように）
- ・ 複合エネルギー（再生・原子力の複合化）、IT関連（テレワークしやすい住居設備と低法人税化）、トヨタのモデル都市のようなチャレンジ（無人モビリティ）
- ・ むつ小川原プロジェクトをやめること
- ・ 村全域を国有地化し、住民税・県税を零円にする
- ・ 村独自のベーシックインカム制度を導入して村民一人一人に対し最低限度の所得を補償するべきである
- ・ 市のような店など増やして経済を活性化してほしい
- ・ もっと様々な飲食店や商業施設を誘致してほしい
- ・ 空家を村で買い取る
- ・ 定住者を受け入れる際に就職をセットで斡旋するなど
- ・ 日本原燃に頼らず、今のうちに六ヶ所村でなければならぬことを増やす
- ・ 子供と高校までは一緒に暮らしたいが大学進学を考えると難しいのがつらいです
- ・ 不自由ない村づくり、買い物、医療など

### (3) 将来像

自分の子どもや孫の世代に残したい、伝えたい将来像については次のとおりであった。  
(順不同)

- ・住んでいて余暇を充実して過ごせるような環境作りを進めてほしい
- ・祭り・風習・行事
- ・子育て、教育のサポートが手厚い自治体、または、そのような雰囲気がある自治体であること 六ヶ所でも生活する上での買い物や娯楽施設はこれ以上増やさなくてもいいので、違う視点で子育て世代が暮らしやすい自治体にしていただければと思います
- ・農業、漁業を大切に
- ・自然と共存する村の姿
- ・この地が日本のエネルギーの中心になっていること
- ・新鮮な山と湖、海の食品を手に入れることができる、この恵まれた環境を保ち、流通を豊かにすること（マエダや六ヶ所館で購入できる品は少なすぎる）
- ・エネルギー産業と自然との共存した村
- ・モノだけでなく、文化的にも世代を越えて共感できる機会がたくさんあること
- ・ここに住んで良かったと思える、皆仲良しの村
- ・六ヶ所村に住み続けたい、と思えるような魅力的な場所になって欲しい。すばらしい自然が沢山あると思うので、観光スポットの発掘や整備に力を入れては？
- ・もっと魅力的な村になって子供たちが戻って来やすい故郷になればいいと思う
- ・エネルギー産業を根幹に、働く場所を確保しながら、永続的に生活出来る六ヶ所村を目指すべきと思う。農業、漁業、工業のベストミックスを目指し、他町村にはない特色とし、豊かさを感じながら、子育てが出来る村を目指してほしい
- ・未来の人たちに残す私たちの負の遺産が、時代々に合った最善の安全対策で守られていきますように
- ・将来は世界中の人々が安心して暮らせるように、是非、六ヶ所村発信の研究によって、負の遺産がなくなることを期待しています
- ・豊かな自然（水・緑・花）と歴史文化を生かすやさしい社会を目指す
- ・子供が都市に流れず、地方や地元を誇りを持てる街づくりをしていただきたい
- ・子供達が遊ぶ公園がなくなっている、球技が禁止になる自治体が多くなっています。そのような状況の中で、尾駈レイクサイドパーク等、子供が楽しめる、人が集まれる場所を提供できる六ヶ所村は素晴らしいと思います。SNSをはじめとしたメディアが加速度的に普及し、目に見えない悪意や、危険にさらされている子供達ですが、六ヶ所村では地域が一体となって児童・生徒を見守り、支えていることを実感できるので、とても安心できます。この環境が続いていくことを願っています
- ・縄文遺跡など実はきちんと整備すれば充実したものを持っている、エネルギー事業といった部分と両立した形で大事な遺産も残して欲しい（特に青森の世界遺産に合わせて）。
- ・SDGs、環境整備産業（リサイクル産業）が先端化した村
- ・環境復元化技術の開発、R&Dが進んだ官学一体の村



- ・ 村の自然とエネルギー産業が調和する独特な土地柄を残したい
- ・ 自分が住む地域に誇りを持ち、他地域に自信をもってPRできる気持ち
- ・ 自然を生かした住宅、町づくりを進め、将来的にも定着する様にされたい
- ・ 言葉や食文化等を残し「昔は、こんなにも田舎だったのに」と言える様な村になってほしい
- ・ エネルギーの問題は最優先、その問題に関わる村になって欲しい
- ・ 穏やかに安心して暮らしていけるふるさと
- ・ 昔のように、海辺でテキトーに遊んでいたのが、今も自然とふれあいながら、友達と遊んだりできる環境のままであって欲しいと思う
- ・ 日本有数のエネルギー関連産業が発展していること
- ・ 原子燃料サイクル施設の永久事業の継続
- ・ 村民流出の原因は 教育 進学したい中学、高校、大学が通えるところがないことが大きい。父母は村内に仕事があり収入があっても子供の将来を考えると一家で引っ越しをするケースが多い。特に学業において優秀な人材が主に流出していく、これを防ぐことが村の発展につながると思う
- ・ 将来像になるかはわかりませんが、六ヶ所村は他の県内地域に比べ、給食費の無料化など子育てしやすい環境であると思うので、今後もそういった政策を継続して欲しいと思っています
- ・ 一次産業を元とした商品の開発や伝統、エネルギー施設と地場産業の共存共栄がうまく進み雇用の場が増えてそれぞれの生活がうるおっていけばいいです

## 6 人口減少や少子高齢化に伴う地方創生事業等に関する自由記述

人口減少や少子高齢化に伴う地方創生事業等については、次のとおりであった。

なお、検索性を向上させるため記載されたご意見等を分類分けしたが、いずれも複雑に関連するものであり、特定の分類にのみ当てはまるものではないことに留意が必要である。  
(順不同)

### 【全体的・複合的な意見】

- ・人の流出を防ぎ、流入を促進するために、医療体制及び教育環境の充実を図り、将来居住し続けられるための環境をより充実させることが必要。商業施設や健全な娯楽施設が少ない。公共交通機関も不足しているため、子育てするうえで不便さを感じる
- ・小さい子が居て急病の時、医療センターでは診れないので、むつや三沢に行くしかないが、村内にそういった施設があれば出産後も安心できるかもしれない。商業施設をもっと増やしてほしい。衣料品を買うためにむつや八戸に行かないと買えなかったり、粉ミルクも買い溜めしないと必要な時になくて困ることがあるので、なるべく村内や地区内で買い物を完結できれば移住者も増えると思う
- ・現状で、高校進学を考えたときに、どうしても村外になってしまいます。(六ヶ所高校がなくなるとも聞いたので)下宿等の支援が続くか不安がありますし、自宅から通学できる方法のサポート等、考えていってもいいのではないのでしょうか。子供達が村内に残れる、もしくは戻りたいと思えるところであってほしいです
- ・結婚して子供を産んでも、受験のために高学年くらいから、村外で生活することを考えなければいけない
- ・高校生になったら下宿先がないので、家族で転居しなければいけないなど、子供のために村外に出なければいけない現実があります
- ・高校への通学が不便なことで子供が小学校、中学校へ入学するタイミングで村から転出することが多いので、村からでもとなりの町、市へ高校が通うことが出来る環境(村スクールバス等)を整えれば人口減少は少しでもおさえられると思います
- ・高校が村内に一校しかない上に、村外の高校に通学するための公共交通機関がない。年寄りのことを気にするのもいいが、若い世代が村内に残り続けられるように公共交通機関の整備も進めてほしい
- ・六ヶ所高等学校の進学率、学力アップ、それが難しいようなら他市町村への高等学校へ通学できるよう公共交通の整備を行えば、子供の教育のために引っ越しする人が減るのではないのでしょうか
- ・少子社会の影響を受け、学校の統廃合が続いており、この流れは今後ますます加速していくと考えられます。六ヶ所村ではスクールバスも広く使われていることから、小中併設校を新設し、児童・生徒を1つの学校に集中させることで、文化面でも、部活動、スポーツ面でも良い効果を期待できるのではないのでしょうか？しかし、学校には“地域の核”としての役割や、児童・生徒の通学時間の問題もあると思います。これからの社会では、地域の将来を担う若い世代の育成と獲得が重要になると思います。高校生以下の海外派遣や、六ヶ所に就職することで返済不要になる奨学金など次世代にとって魅力あ

る村になることを期待します

- ・ 仕事がいくらあっても、住みたいなと思える環境がなければ、定住しないと思うので、交通機関の充実性や商業施設の豊富さなどが潤っていけば、人口減少などおさえられてくると思う
- ・ 買い物や通院などの利便性が悪く、仕事の選択肢も少ない為、六ヶ所村に住み続ける利点が一切感じられない
- ・ 大型商業施設の誘致して、村内での衣食住に安定感を提供して欲しい。道路のバリアフリーを図って欲しい
- ・ 交通の便、働く場のある環境作りが大切であると共に、高齢者と人達にもただ家に入れて置くだけじゃなく軽労働させるなどして、やりがいを持たせる事も必要だと感じます。十人十色、手に職を持つてる人もたくさんいるかと思えます。活用させて生きがいを持たせた方が良いのではないのでしょうか、検討してください
- ・ 農地付きの空家をセットで移住者対象にやってみたらどうか
- ・ 全国的な少子化の中、自治体単位での対応はムリがあり、日本としての対応を考えるべき
- ・ 空家を格安で貸出する。移住希望者にお試しで住んでもらうとか？村内の広大な原野を整備してコストとかイケヤとか大型店を誘致する（土地の所有権とかで難しいか？）村内にお店を出しやすくするため規制を緩める
- ・ 役場が新庁舎になった時の周りの環境を進展していくこと。例えば、コンビニ、食堂、パン屋、アウトドア店などと公園、屋内イベント広場（朝市などが開けるように）を、村で補助金を出し、活性化してほしい
- ・ 村内商店を移転させたり、他からの誘致を簡単にし、生活必需品購入や、娯楽を、行政を扱う職員と共に楽しむ場所を進化させていく
- ・ 子供、結婚をしたら、例えば家を建てる助成をしてくれるなど大幅な改善案がないと変わらないと思う
- ・ 何故六ヶ所村は個人経営等の店舗がほとんどで大手チェーン店、スーパー、飲食店を展開しないのか。自分の妻は県外から嫁いできたが、実際の六ヶ所村を見た第一声は「何もない田舎だね」でした。自分は社会に出てからのほとんど（15年超）を六ヶ所村で過ごしているが、その間に新規にできた店は片手で数えることができる位だし、村から若者が出て行く理由はその辺りにあると思う。冒頭にも記載したが、何故店を増やさないのか？できない理由でもあるのか？自分は今後村外に引っ越すつもりだし、今後六ヶ所村が発展するとは到底思えない。年寄りも現状で満足なのかもしれないが、村の施設、観光がこのままだと若者は出て行くばかりですよ。（実際に周りがそうだから）
- ・ 今の六ヶ所村は自分たちの子育て時代に比べて保障の充実がすばらしいと少々うらやましい限りですが、それでも少子化が加速しているのは何か、全国的課題ではありますが検討して頂ければと考えます
- ・ 六ヶ所村は他の地域に比べると気候やアクセス性棟はとても厳しく、一般的には過疎地域となってもおかしくありません。しかし、現状は一定の税収入により、安定したユーティリティを供給できているため、又その収入源に通勤する住人がいて成り立っている状況です。確かにこのままでも一定年数は現状維持が可能かもしれませんが、収入源が

消えれば廃村になります。これを防ぐには、やはり、現状の産業を若い世代に担ってもらい、村に残ってもらえるように生活環境を整備する必要があります。このためには、若い世代の負担（税負担、生活維持費）を減らし、村で稼いで、村内で消費する（ニーズのある産業、店舗の誘致）サイクルを回すべきです。幸いにも六ヶ所村出身者の方は郷土愛が強く、可能なら村で住ごしたいと望む方も多いため、上記の対策を充実することが今後の六ヶ所の発展につながると思います

- ・若者は減っていく傾向なのだ、過疎化を防ぐためにも子育て支援、Uターン者への就職斡旋、県外からの居住者募集などを行っていくべきだと思います
- ・全国的に保育料が無料になってますが、自分的には保育料が無料になったから子供は増えない、子供をあずける場所がないから、そこにお金をかけるのではなく、施設、人材にお金がかける方がよいと思う。支援をしなくてはならない所には支援は大切だと思いますが（国の政策だし、今更ですが…）

#### 【郷土愛・シティプロモーション】

- ・金銭的な魅力だけではなく、六ヶ所村で生まれて育ったことを誇りに思えるような村づくりをしてほしい。それが人口減少につながると思う。少子化については、産婦人科や小児科が遠いこと。子ども園も特色がなく、他市町村ではそのような教育に力を入れているところもたくさんあります。どんどん他地域に出ていってしまうことが、とても心配です
- ・六ヶ所村は、他市町村に比べると、若い方が多いようですが、結局は、村外の住みやすい環境の所へ行ってしまふ。せっかく、安定した雇用の場があるのに、わざわざ通勤時間をかけてまでも、遠くへ住む。もっと若い人が住み続けたいと思える街作りが、必要なのでは
- ・六ヶ所村は出生率が高いものの、残念ながら、子の成長に伴って転出していく世帯が多い。進学や医療の都合など転出理由は人それぞれあるが、「住み続けたい」と思わせる町づくりを望みます

#### 【平穏な暮らし・家族】

- ・コロナの手当+5万円は非常にうれしかったので、それなりの支援を継続的に行ってほしいです。六ヶ所村は大好きですよ
- ・現状の六ヶ所では老いてから住み続けることは難しいといつも思っています。現在はまだ車に乗れているので何とか歩いたりすることが大変でも何とか用足しできますが車に乗れなくなった時は家族の世話を成ることになります。現時点では若い方々は作業で忙しく老いのめんどうは見れなくなりますので最終的に施設利用になるであろう私たちの将来は、そのためにコミュニティーが取れる施設等が望ましいと思っています。寝たきりにならず、少しの見守りで楽しめる場所

#### 【出会い・結婚】

- ・農家の男性も結婚出来る出会いの場を一人一人もっと行政で支援してほしい

- ・若い人材が、村から出ていく事を防ぐ為に、やはり、結婚につなげるという意見で、イベントなどを、積極的にやるべき。県外や外国人の方も仕事上では村に居ますが、村民限定ではなく外部からの方も住みやすい村にする為にどうすれば良いか考える
- ・婚活パーティー等を開催してほしい
- ・30代後半の息子、娘がいますが、まだ未婚です。他県でAI婚活を行っている所があるというテレビ番組を見たことがあります。六ヶ所村でもAI婚活やってほしいです！

#### 【地域交流・世代間交流】

- ・尾駈地区に夏祭り等の地域住民が交流できる行事があった方が良く
- ・各種コミュニティへの支援を行うことで地域の和が生まれると思うので文化コミュニティやスポーツ団体への手厚い支援・意見・要望の聞き取り等を実施してほしい

#### 【医療】

- ・子供を産む病院、育てる産婦人科がないことについては、六ヶ所村だけではなく青森県の広域課題として、人口減少・高齢化対策の観点から、公募事業により何らかの対応が必要ではないかと思う
- ・村内に産婦人科、皮膚科を設立してほしい
- ・子育てしやすい医療環境を整えたいと思う。特に冬場の通院が大変
- ・医療体制の充実が必要と考えます。(現状は六ヶ所尾駈医療センターのみ)
- ・高齢出産に特化した産婦人科の誘致と、「43歳以上」の不妊治療・高齢出産の助成を組み合わせ、全国から移住者を募る方向性を探って頂きたいです
- ・出産できる病院(野辺地病院)の復活希望
- ・最先端のがん治療施設の誘致
- ・現在不妊治療を行っているが、働きながら八戸まで月に4~5回行かなければいけない。県内の他の市町村は人工授精でも補助があるところもあるが、六ヶ所はない。仕事も毎回半日以上は休まなければならない、夫も月に1~2回は八戸に行くために休まなければならない。不妊治療ができる病院がないこと、補助がないことが理由で、このまま六ヶ所に住み続けるか転居を検討している

#### 【出産・子育て】

- ・共働きの人が多い中、小さい子供がいると、しょっちゅう熱を出したり風邪を引いたりして会社を休んだりすることが多々あると重たわれますが、熱がなくても少しゲリをしているだけでも、すぐに連絡が来て迎えに行かなくてはならない！誰でもすぐに使えるような、病後児保育施設を充実させてほしいと思います
- ・子供のやりたいを妨げない多くのスポーツや学習を充実させる
- ・子育てに対しての支援が大変充実していると思う。高齢者に対しての支援ももう少しあればと定年間近な身としては考えます
- ・子育てに関して、一歳以下の一時預かりや、病後児保育等、もっと充実させてほしいです

## 【教育】

- ・ 小学校、中学校を 1 ヶ所にまとめる（少人数だと社会に出てからの交流や考え方がかたよる）
- ・ 村独自の奨学金制度の制定
- ・ 教育に係るお金がかかり過ぎる。（都市部は近くに良い学校がある、田舎は近くにないので下宿等をさせる）かかる費用が違いすぎ等近くの学校を選択した場合将来の選択肢が（経験上）狭まる。教育格差をなくすように取り組んで欲しい。例:高校はすべてテレワークにするとか
- ・ 子供の学業も、県外村外に比べると、レベルが低いと感じます。塾などをもっと積極的に増やすべきだと思います
- ・ 幼稚園から小学校へ上がるタイミングや中学校へ上がる時、高校入学と子供の学齢の節目に引っ越す家族が多いと統計的にも明らかではありませんか。村内に公文教室が出来て少し流出のタイミングを遅らせていると思う。高校生でも小学校の内容から基礎を学びなおすこともでき、自分のペースで大学入試レベルまで学べる公文式を六ヶ所高校で導入してみてもはどうでしょう
- ・ 村外からも入学したくなるような学校やスクール・塾などがあつたらいいなと思います
- ・ 教育についてもっと教育に投資を。六ヶ所村出身者は英会話ができてすばらしいと言われるようになるように 5 年以内を実現してほしい
- ・ 子供の教育に当たり、国際交流事業（ホームステイや、受け入れ等）による人の育成をして欲しい、外の地域とこのような部分で差をつけることにより、教育のために六ヶ所に住みたい人が増えると良い
- ・ 村内にいても、子どもは大学進学できる環境が欲しい
- ・ 私は入村して一年未満の若輩者ですが、核燃料の再処理工場があることを基盤にした小学校から大学までの勉強できるスーパーサイエンススクールを原燃と村で共同開校してみたらいかがでしょうか。最先端の科学を学べることは一種のメリットになると思います
- ・ 原子燃料サイクル施設がある中で、そういう方面の知識を学ぶ科が高校にあってもいいのではないのか。一考願いたい
- ・ 教育環境の充実や医療機関の充実をもっと行うべきかと…
- ・ 高校への通学手段が弱いと思う。特に三沢方面
- ・ 村で看護師、助産師などを育て、診療所などで出産の手助けになれるように地元でも安心して子供が産めるようになればと思います。産婦人科が近くにないので!!
- ・ 子供の習い事を増やして欲しい。あっても車がなければ行けない。しかも人数がたくさんで移動手段があっても、ダメ。子供の視野が狭く、選択肢が他の地域より少なすぎる

## 【高齢者福祉】

- ・ 若い世代が、親の介護等のため、仕事に支障が出ないような、体制が出来る事を望む、その為には、行政並びに民間が共同で対応する事が一番と思われる
- ・ 老人ホームや介護サービスを充実させる必要がある
- ・ 高齢者施設の拡大と充実化

- ・子育て世帯は何かと優遇されているが高齢者は何か優遇されていない。独身女性の給料で介護の親がいて、自分の給料だけで二人分の生活は非常に厳しい。包括にもっと活動してほしい

### 【交通・道路・除雪】

- ・雪の問題があるので、歩道の確保（泊の町中）をしてもらいたい
- ・バスの運行を増やして欲しい。今現在車で買い物してますがガソリン代が高くてビックリです
- ・公共交通機関（バスなど）の充実
- ・公共交通機関を充実して欲しい。一番いいのは電車、出来なければバスターミナル
- ・交通の便の改善により行き来がしやすくなると思う
- ・車がなければ移動もままならない土地なので公共交通機関を充実させられないか。泊～尾駁～倉内まで、地下鉄を通せば人も集まりやすくなるだろう
- ・国道、県道等の道路整備を進め車での移動がしやすい環境を作る
- ・土日の公共交通、バスがとても不便です。車がない人は青森・八戸の病院に行って帰ることが出来ない
- ・基本一人一人が車を持たないと生活できないので、もっと交通の便の改善をして欲しいです。でも、昨年？から歩道も除雪されていてとても助かりました

### 【住居】

- ・結婚し村営住宅に入居しても、子供が出来、収入が上がると家賃が毎年上がる為、別の住居をさがすか、六ヶ所村の家賃は非常に高く、村内企業に勤める人の収入では入居不可と思われ、村外に転居している人も多い為、家を建てられない人の為には、住宅を増やし、定住してもらうことが一番と思われるので、官民一緒となっていくことが望ましい
- ・村外からの移住者を増やす必要があると思うが、全体的にアパートの家賃が高い。安い村営住宅は空いていない又は所得制限により入居できない、ファミリー向け物件やペット可の物件が少ないなど、持ち家以外の選択肢が不足している
- ・空家等を活用したシェアハウスなどの経営
- ・賃貸住宅等の拡大

### 【商業施設・レジャー】

- ・六ヶ所村は「自然に豊か」と謳っているが、海に接する機会が明らかに少ない。エネルギー関連産業が多い為、村外から働きに来ている人も多い。村内から村外に出る人だけでなく、村外から来る人にも目を向け、他の市町村で体験することが少ない「海に接する事業」が増加すれば、結果的に人口増加、少子化防止にも繋がると思う
- ・友人など六ヶ所案内して～って言われるけど、何も無いから案内できない。20代の人たちが求めるところがない
- ・お店を増やしてほしい。六ヶ所に売っていない物が多くて、わざわざ三沢まで行って買わないといけない、時間がある時ならいいが時間がない時は大変。住みにくいです
- ・村外に出なくてもいろんな楽しみの出来る商店街や娯楽施設等を作る

- ・若者が交流できる民間施設や商業施設の誘致
- ・商業施設の誘致等に力を入れ、若者が村を出なくてもよい環境を作っていただきたい。もっと魅力のある村に
- ・六ヶ所館近くに家族連れで遊べる場所、子供たちが遊べる場所をつくってほしい
- ・大型商業施設を建てると、若い世代は居住すると思いますけど。それに伴って、住宅など増えていくのではないのでしょうか。八戸ニュータウンとか、すごい理想的な町ですよね
- ・娯楽施設は増やすべきだと考える。村内関係者が一丸となって対応する必要がある。
- ・若い人が楽しめるスポット（カラオケ等）の増設、外食チェーン店の増設（牛丼、カレー、ラーメン等）
- ・六ヶ所村は福祉、教育等は充実しているが、やはり楽しめる場所を作ることも大事なのではないでしょうか
- ・南地区、北地区に「道の駅」を作るべき
- ・商業施設誘致を進めて欲しい。（下田ジャスコでおいらせ町は元気）
- ・ダイソーが出来てとても便利であります。ただ、マエダストアしかスーパーがないので、品ぞろえがない時は買える物がなくて困ります。仕事から帰ると品薄です
- ・チェーン店等を増やしてほしい。（主に食事処）

#### 【イベント・観光】

- ・若い人達がインスタ映えを狙って訪れてくれそうな取り組みをしたら、人もどんどん住居してくれるのではと思います
- ・白鳥などの渡り鳥が見られるのでジオパークを作って学べる土地を作るのもいかがでしょうか
- ・自然を生かした観光に力を入れて欲しい、山、海、沼に関わる観光を開発し、集客を増やして欲しい（レイクサイドパークの有効活用や登山、釣り、ソロキャンプ、グランピング施設など）

#### 【第一次産業】

- ・農業・漁業のブランド化推進と企業参入推進（加工、後継者不足解消の為）
- ・野菜の水耕生産工場化〈生産をファクトリーオートメーション技術を利用して省力化〉  
〈若い世代でも、工場勤務なら働いてくれそう。しかも二次産業も継続可能だし〉

#### 【産業・雇用・働き方】

- ・若者が安心して働ける場所。給料が上がって行く職場
- ・原子燃料サイクルを早く稼働させる様、村でなく、青森県として国に申し入れして下さい。六ヶ所村の税込、雇用増大、所得向上につなげ、プラスのサイクルに回る様にして下さい
- ・若い世代の人達が安心して暮らせるよう長期にわたって働ける職場を作って欲しい。交通手段のない働く意欲のある高齢者（健康な）が長期にわたって働ける職場を作って欲しい



- ・工業発展の支援（割安な立地、運営費に対する行政支援）
- ・六ヶ所出身で他府県在住の方に六ヶ所に戻りたいか調査し、どういう条件が整えば戻るのかヒアリング。実現可能な条件であれば、その方の企業と相談し遠隔で業務（リモートワーク）が可能か一定期間、補助金有りて試行してみるなどの小規模なトライ＆エラーを繰り返す
- ・欧州・米国等で CO<sub>2</sub>税が加算されることから貿易の悪化が懸念されることから再エネ、原子力の電気で鉄鋼、ゴム（タイヤ）を製造するプラントを民間とやってみる
- ・村で、ビニールハウスたくさん作り、シルバーの皆にも作業する場所を作り交通は送迎車を準備すれば高齢者でも収入にもなり年金で苦しい生活をしなくてもすむのでは？
- ・人口減少は、会社でのやりがいを感じないとかモラハラ・パワハラが普通になってる人とかがいるから、それが嫌で県外に出る人がいると思う。給料が低いのもあると思います

### 【エネルギー】

- ・2030年には原発のコストが太陽光より高くなり、原発の在り方が変わってくると思います。原発依存の村であれば、これからの子供孫世代にはつらい将来がやってくるのは明白だと思います。新たなエネルギー（例えば水素電力等）の誘致が必要だと思われま
- ・転入者、および村内在住者へのメリットを拡大（例:風力発電による電気料金緩和）
- ・カーボンニュートラル社会を目指した、水素エネルギーの技術開発、課題解決に向けた実証事業などに積極的に取り組み、次世代も六ヶ所が日本のエネルギー最先端の地としてあり続けたい
- ・A コープ、リーブに隣接して、電気自動車への充電サービス、電気自動車のメンテナンスする店舗の開設〈来る脱ガソリン車時代に備える〉
- ・ガソリンスタンドを存続させる〈非常用発電機には軽油・ガソリンが欠かせない〉

### 【行政サービス・官民連携】

- ・魅力ある村づくりについて、公園の造成（レイクサイドパーク・レイクタウン北地区など）が行われているが、街路樹が枯れたりオブジェが錆びたりし寂れた印象になっている。作ったら終わりではなく、維持や有効活用をして初めて魅力が生まれるのではない
- ・同年代の行政の人と民間の人がふれあえる（情報共有・交換）が出来る場が増えてほしい
- ・エネルギー関連のみならず、ドローンや次世代モビリティなどの、広い土地が必要となるような研究施設などを、行政と民間が共同して誘致できれば、地方創生につながると思います
- ・マイナンバーカードについて、コンビニのコピー機でマイナンバーカードをかざすだけで印鑑証明を取得できるサービスを早急実現してほしい
- ・おくやみ窓口を早急に設置してほしい。葬儀終了後1週間以内に支払いしなければならないのに、1週間除籍に日数をかけすぎている為

- ・冬以外だけでも無人電気自動車巡回車を走行させてほしい
- ・村のしている事は、金持ちにやさしく、貧しい人には恩恵が受けられないと思うことが多い、例えばプレミアム商品券など
- ・他の自治体と同様のことをしても、他とは住民の住環境等が違うので、村に合ったことをすべきだと思う。お金のある村だと言われているが、他に住んでいるのとあまり違いを感じない
- ・今、エネルギー関連で注目されているとは言うものの、住民それぞれのマナー等がひどい。そういうことばかり注目されているので、直した方がよい
- ・図書館をリラックスして利用できるイメージに作れないものか
- ・オンライン化で手続きできる様にして欲しい、それか土曜日も役所で手続きできるようにして欲しい。住民票で休み取るのが大変
- ・2-30年前と、なんら変化を感じない。この事業に携わってる責任者や議員の方々、もっと言えば村長さんは村内の施設等を個人的に使用しているのでしょうか？村民の実態等を直接、見たり、聞くことをしているのでしょうか？全く身近に感じないのですがー。うわべだけでなく深いところの意見・現状を、肌で感じて下さい

#### 【住民参画・村民性】

- ・自由気ままに意見できる目安箱の設置、そうした意見を広報に載せ、その人々の考え方、物の見方を聞いてみるのも地元の発展につながります

#### 【情報発信】

- ・六ヶ所村で実施しているイベント（PRセンター、六旬館、飲食店等）をもっと SNS を使用し、まずは若年層が気が付くようにして欲しい
- ・住みやすい環境づくり、又県外からの受け入れ等検討すべき。六ヶ所村は災害が少ない地域であるし自然的にも恵まれていると思うのでもっとアピールすべきかと思えます
- ・六ヶ所 TV は見ててマンネリ、TV 東京みたいになって、（コラボして）みては？
- ・日本の税制が変わらないと難しいと思う
- ・3世代同居で、介護している家庭には税控除とか、色々としかけないと、最後には行政が財政的にパンクすると思うし、国民も自律しないといけないと思う。もっと意見を聞く、述べる場なり、SNS 上にでも作ってほしいと思う
- ・ユーチューブにロック TV を放映する
- ・外から来た者として、何があるのかわからない。せっかく色々な業者があり、山菜や釣りなどのレジャーもある。電話帳の情報〈住宅建設、産廃、水道工事、etc.〉をネットに掲示してほしい。→六ヶ所の情報ネット上に少ない
- ・村内イベント（PRセンター、郷土館、六旬館など）の日程をすぐにわかるように SNS でまとめたアカウントがあれば、いろんなアカウントをフォローしてイベント情報を拾っていくより広まりやすいと思う。アウトドアが流行していて、六ヶ所村を盛り上げていこうと情報発信しているようなので、アウトドア（家族向け）、スポーツなど男性向け、美容（女性向け）など各方面に興味を持ってもらえる六ヶ所村の魅力を発信していくと尚良いと思う

- ・村内放送が聞き取りにくい（機材未設置）なので、Facebook ツイッター等でも、お知らせして欲しい。インスタは、リポストばかりで正直つまらない
- ・村内広報誌は、社宅で全配布されてない。SNS を活用したタイムリーな情報発信をして欲しい

### 【安全・安心】

- ・海港部地域の住宅の高台移転対策を実施を望む（特に泊地区）
- ・①防災拠点づくりをし安全で安心して暮らせること ②子育てしやすいこと ③子供や大人が気軽に集える場所を整備する等、活力ある村づくりを。④高齢者が生き生きと生活できること。⑤環境と共生する村づくりを

### 【生活コスト・税金】

- ・市民税を下げる
- ・エネルギー産業が活発なので、住民に低価格で電気代を提供してもらいたい。※冬は灯油代など
- ・買い物が不便で永住したいとは全く思わない。ガソリン代補助があるととても嬉しいです。

### 【地域間格差】

- ・尾駁地区の一極集中村政はどうかと思う
- ・原燃の寮など、尾駁だけでなく泊地区にも建てるなど
- ・尾駁に人が集中している（商業施設等も）気がするので六ヶ所全体に人口が分散する様にもっていったら、尾駁のアパートの競争率も下がって入りたい時に入りたい人が住めてバランスがとれる気がする。朽ち果てている空家とかをたまに見るが、そういった場所を役場で建て直して賃貸にすれば外観も良くなるし人も住めるし、良いのではないのでしょうか…

### 【衛生環境】

- ・夜中にゴミ（廃棄物含む）を焼却していて窓を開けて寝る事ができません。焼却は完全に止めさせてほしい

### 【その他、改善要望等】

- ・村民をもっと大切にしてほしい
- ・祭りやイベントの時は子供専用のバスを出してもいいと思う
- ・原燃近くに居酒屋、飲食店を作り、寮に入っている人に金を使わせる
- ・プレミアム商品券は売り切れるのが早すぎて買えません。なんとかして下さい。不公平です
- ・村内放送が1日に何回も何回もかかってうるさい。緊急時意外なお知らせは朝、昼、夜（夕方）決まった時間（音楽かかった後すぐにとか）にまとめて放送してほしい。（時間は決めているのかもしれないが、多すぎるように感じる）子供が怖がっている。かとい

- って音を切ってしまうと本当の緊急時に聞きのがしてしまう
- ・大学生がスポーツや勉学に力を入れる事ができるように、助成して欲しいと思います。小さな子供ばかりの助成が目につきます
  - ・尾駈レイクタウンへ定住してもらえるような働きが必要。補助金、助成だけでなく村の魅力を伝えるべき
  - ・プレミアム券の（1.5倍）はすごいと思いました。しかし、買えませんでした。どんどんやってほしいのと数量限定しないでほしい
  - ・コミュニティーセンターの利用を幅広く受け入れしてほしい。以前、利用可能かコミュニティーセンターに問い合わせたところ、利用条件が全く決まっていない、管理担当者の方がそのように言うており、役場に問い合わせると、条件もわからない人が管理していることに不満。箱モノばかり建てるが、利用もほぼないのはもったいない
  - ・六ヶ所村の強みについて、今一度考察してはいかがでしょう
  - ・他市町村がうらやむ施策が、地元住民の強みになると思います
  - ・レイクタウン北地区にたくさん家が建っている理由は高額な補助金だと思います。前から建てて住んでいる人には何にもなくて不公平です
  - ・役場職員の自殺が気になります。週1日は完全に休ませてほしい
  - ・村内の働き手として、仕事の内容がわかる見学会をひらいたらいいと思う
  - ・人口減少について、役場の職員や関係者は六ヶ所村に住んで欲しいです。役場などに就職するときは六ヶ所所在住でも何年か経つと、三沢やおいらせ町など近くの市や町に移住する人が多いと感じます。だから六ヶ所村の学校の生徒数は減少し、日用品や食料品を買うのも六ヶ所村以外になっていると思います
  - ・原燃の食堂、弁当への地場製品の採用を積極的に働きかけるべき
  - ・人口減少の歯止めとして、子供の数を自分の年金に反映させる事も必要
  - ・村内に職場が無くとも村外に30分程度で出られて働ける村にして、六ヶ所村はベットタウンを目指す。（ベットタウンに欠かせない商売）個人商店、移動販売する人に補助金を出す
  - ・北海道夕張市の事例から、住む場所を限定する（移住）
  - ・レイクタウン地区に、自転車を修理、年次点検、自転車保険取り扱うお店があればいいなあ（中学生・小学生が自転車通学してるのにもかかわらず、近場に自転車を修理してくれる店が無い
  - ・県外からの出張者の宿泊施設（ビジネスホテル等）
  - ・少子高齢化に伴う事案は、共生できる地域の存続に行政が積極的に加担出来る態勢を構築、更には、集約だけでなく持続可能な助言をサポート願います。
  - ・20代～30代女性の美容に関する仕事、場所などを作って欲しい。若いママや独身女性が六ヶ所村でも美容に関する事が出来るだけでも違うと思う
  - ・週末になると村に誰もいない（村外へ皆出かけてしまう）ので、寂しい村感がある
  - ・地域特有の、うわさ話やそのようなことがイヤで出て行く人が多いと思う。それがなくならない限り、人口減少は止まらないと思う
  - ・人口減少対策は行政として行動していることが見えない
  - ・宿泊施設が不足しており、村内のホテルは長期滞在者により満室のため利用できない

- ・このアンケートは定年を迎えた人にとって不適切！もう少しアンケート内容を考えた方が良い